

埼玉昆虫談話会

寄世蛾記 No. 86



1998. Apr. 30.

「寄せ蛾記」86号 表紙の説明

◆オオイチモンジ *Limenitis populi* ♀

斑紋の美しさもさることながら、深山の溪谷ぞいを飛翔する姿はまさにタテハチョウの王者を思わせる。数年前の8月初旬、新穂高にオオゴマ採集の帰り、乗鞍林道を通り白骨へ抜けて帰ってきた。時期的にもうオオイチモンジには逢えないだろうと思いながらも、ゆっくり車を走らせていると、白骨を過ぎてすぐ、目前に沢から流れる濡れた道にオオイチモンジの♀が吸水中である。♀の吸水は珍しいと思われるが、この時の印象がいまだに強く残っている。

神久保 美津夫

表紙

図 : 神久保 美津夫

デザイン : 小堀 文彦

.....

いるま蛾報 (9)

井上 寛

.....

このシリーズの第8報(寄せ蛾記68: 1485-1154, 1993)を書いてから5年も中断してしまった。故市川和夫氏と共著で、加治丘陵(埼玉県入間市)の蛾類(1990)の中で、1989年度における此処での採集品と、このシリーズで既に記録した蛾類をリストに加えた。しかしこの報告の前にも後にも当地での採集は休みなく一年中行っているの、リストに挙げていない蛾はとれていたし、また最近になって初めてとれた種類もある。此処に "加治丘陵の蛾類" に載っていない追加種を列挙して、やがて出版される埼玉県昆虫誌(鱗翅目)のための資料として役立つようにしたい。

以下に記録する採集年が新しいものが多いのは、多くの標本を幾つかの国内の博物館に寄贈し、手元にないためである。

ウモリガ科 HEPIALIDAE

コウモリガ *Endocryta excrescens* (Butler)

キマダラコウモリ *E. sinensis* (Moore)

いずれも9月下旬から10月上旬に毎年成虫が発生し、夕刻雄が雌を求めて私宅のまえのクヌギやコナラの林のへりを飛んでいるのがみられ、少数が日暮れとともにベランダの明りに飛来する。

ミノガ科 PSYCHIDAE

ウスバヒメミノガ *Psyche* sp.

私が蛾類大図鑑p.160 (1982) で書いたように、私宅のブロック塀によくミノが固定され、6月に成虫が羽化する。勿論雌は無翅で、ミノの上で雄を待つ。

オオミノガ *Eumeta japonica* Heylaerts

庭木や街路樹に大きなミノが見つかることが多く、私宅付近でもよくみかけ、雄成虫をえたことがあるが、この5-6年はまったくミノを見ることがない。

チャミノガ *E. minuscula* Butler

家の左横に茶畑があつてしばしばミノが見られ、7月に時たま成虫が灯火に飛来する。

シバミノガ *Nipponopsyche fuscescens* Yazaki

1993年6月はじめに、私宅から50メートルくらい先にあるコウライシバの植えられた広場で大発生した。独特のミノなので生息していればすぐに気づくのだが、翌年からはほとんど見られなくなった。

ネグロミノガ *Acanthopsyche nigraplaga* (Wileman)

7-8月に雄が時たま灯火に飛来する。

スカシバガ科 SESIIDAE

セスジスカシバ *Pennisetia fixseni fixseni* (Leech)

1♂, 2. ix. 1997.

ブドウスカシバ *Nokona regalis* (Butler)

ムラサキスカシバ *N. purpurea* (Yano)

どちらも近くのブドウ園で発生し、6月に成虫がとれるが、後種は数がたいへん少ない。

コスカシバ *Synanthedon Hector* (Butler)

1997年9月に、池田真澄氏から提供していただいたフェロモントラップによる採集を庭で試みたところ、夕刻に多数の雄が飛来した。このトラップで春から秋に更に何種かのスカシバが誘引され採集できるにちがいない。

マタラガ科 ZYGAENIDAE

ミノウスバ *Pryeria sinica* Moore

毎年晩秋に私宅付近のマサキの生け垣で成虫が発生し、幼虫も多数みられるが、発生量は年によって極めて変動する。

タケノホソクロバ *Artona (Balataea) martini* Efetov

私は6月に自宅付近で数頭の成虫を昼間とっている。本種の学名については、杉(蛾類通信 196:339-343, 1997)に詳しく記述され、ごく近縁のヒメクロバ *A. (B.) funeralis* (Butler) との区別点や産地も記載されているので、参照されたい。

ブドウスカシバ *Illiberis tenuis* (Butler)

毎年6月に自宅付近で昼間とれる。

セミヤドリガ科 EPIPYROPIIDAE

セミヤドリガ *Epipomponia nawai* (Dyar)

1978年8月にペランダの灯火に飛来したヒグラシに幼虫が寄生していて、そのままシャーレのなかにいれて置いたところ、丁度1週間目に死んだセミから離れてマユを作り、2週間たってから雄が羽化した。その後も毎夏明りに飛来するヒグラシに注意しているが、セミヤドリガの幼虫はみつかっていない。

ハゴロモヤドリガ *Epiricania hageromo* Kato

蛾類大図鑑p.298 (1982) に書いたように、1979年7-9月にかなり多数の雄雌が灯火に飛来したが、いつもは発生数が少ないためか、成虫も幼虫もみることは極めてまれである。本種のタイプ標本(今は行方不明)の産地は飯能市の天覧山のおもいで、スケバハゴロモに寄生していた幼虫から羽化したものである(加藤, 1940, 昆虫界8: 81-82)。

メイガ科 PYRALIDAE

追加すべき種がかなりとれているはずだが、まだ十分に調べていないので、ここには数種だけあげて置く。

モモノゴマダラノメイガ *Conogethes punctiferalis* (Guenee)

マツノゴマダラノメイガはすでに記録したが、本種は6-9月に同時にとれ、何れもごく普通種である。

ワタノメイガ *Haritarodes derogata* (Fabricius)

ワタヌキノメイガ *H. basipunctalis* (Bremer)

長いあいだ両種を混同していたこと、どちらも仏子でとれていることを、私(昆虫と自然25(13):295-6, 1990)が記録した。ワタヌキノメイガという新和名もそのときつけたものである。

ヒメシロノメイガ *Palpita inusitata* (Butler)

5-6月と9-10月の2回灯火に飛来するが同属のマエアカスカシノメイガよりもはるかに少ない。本種は私(*Tinea* 15(1):32, 1996)が既に入間市から記録している。

ハチノスツツリガ *Galleria millonella* (Linnaeus)

8-9月に時々灯火にくるが、大部分は雌で、雄は多分夜間活動しないのだろう。

アカフツツリガ *Lamoria glaucalis* Caradja

1♀, 15. vii. 1995.

前種と同じように夜間とれるのは圧倒的に雌のほうが多い。

ニシキシマメイガ *Mimicia pseudolibatrix* (Caradja)

1♀, 14. viii. 1996 ; 1♂, 3. viii. 1997.

私(蛾類通信145:305-306, 1988)が初めて日本から記録して以来、埼玉県(市川, 蛾類通信161, 1991)を初め関東から近畿, 中国にかけて多数の採集記録がある。このように美しく目立つメイガが1980年代より前に採集者の眼を逃れていたとは考えられないので、外来種が近年土着したものと推定される。

シャクガ科 GEOMETRIDAE

チズモンアオシャク *Agathia carissima* Butler

1♀, 6. vii. 1997.

アシプトチズモンアオシャク *A. visenfa curviiniens* Prout

1♂, 5. v. 1995.

カギバアオシャク *Tanaorhinus reciprocata confuciaris* (Walker)

1♂, 14. vi. 1997.

サカハチヒメシャク *Scopula hanna* (Butler)

1♀, 19. viii. 1997.

たいへん稀な種で・蛾類大図鑑p.448(1982)に書いてあるように、新潟, 神奈川, 静岡の各県, 伊豆の八丈島, 沖の永良部島などごく少数とれていた。その後、岐阜県と秋田県でもとれている。

トシマカバナミシャク *Eupithecia toshimai* Inoue

1993年以来4-5月にとれるようになったが、この頃では東京都や神奈川県でもとれていて、

次第に分布を北へと延ばしている種のように思える。

ウラキトガリエダシャク *Hypephyra terrosa pryeraria* (Leech)

1♂, 1♀, 3&14. vi. 1997.

トンボエダシャク *Cystidia stratonice* (Stoll)

ヒロオビトンボエダシャク *C. truncangulata* Wehrli

6月にウメエダシャクと共に、昼間盛んに飛んでいて、多少雨が降っていても活動を止めない。私宅の庭にもしばしば飛んでくる。

ツマジロエダシャク *Krananda latimarginaria* Leech

1♂, 17. x. 19971.

ミヤマツバメエダシャク *Thinopteryx delectans* Butler

1♂, 14. ix. 1997

オオノコメエダシャク *Acrodontis fumosa* (Prout)

1♂, 4. xi. 1994.

クロモンキリバエダシャク *Psyra bluethgeni* (Pungeler)

1♂, 2. iii. 1994.

ヒロバトガリエダシャク *Planociampa antipala* Prout

1♂, 20. iv. 1996.

本種に近縁なホソバトガリエダシャクは3月中旬から4月上旬に沢山灯りに飛来するが、本種はこの1頭しかとれていない。

ヒロバトガリエダシャク *Planociampa antipala* Prout

1♂, 20. iv. 1996.

ウコンエダシャク *Corymica pryeri* (Butler)

1♀, 23. iv. 1998.

スズメガ科 SPHINGIDAE

エゾスズメ *Phyllosphingia dissimilis dissimilis* (Bremer)

1♂, 29. vi. 1996 ; 1♀, 19. vii. 1996.

私が26年あまりの間にとつたのはこの2頭だけだが、家の近くにクルミの木がないので、土着しているかどうかわからない。

ヒメクロホウジャク *Macroglossum bombylans* Boisduval

毎年8月から10月にかけて、ホシホウジャクと共に、私宅の庭の側に植えてあるルリトラノオやホウセンカの花に多数飛来するが、ホシホウジャクほど数が多くない。これら2種のホウジャクはオオスカシバとともに、この付近に土着しているのではなく、南の方から北へ向かっての移動を繰り返しているのであろう。

ヒトリガ科 ARCTIDAE

クロスジチビコケガ *Stictane rectilinea chinensis* (Draudt)

2♀, 3. vii. 1996.

クロフシロヒトリ *Eospilarctia lewisii* (Butler)

2♂, 10&15. v. 1995 ; 1♂, 3. v. 1998.

コブガ科 NOLIDAE

この科は、この頃ではヤガ科の一亜科とされているが、ここでは便宜上従来のまま科として置く。

ウスカバスジコブガ *Nola ebatoii* Inoue

4月から6月にかけて毎年灯火に飛来する。

クロスジシロコブガ *N. taeniata* Snellen

1♂, 10. ix. 1978.

ツマモンコブガ *Poecilonola pulchella* (Leech)

1♀, 29. vi. 1983 ; 1♀, 20. vi. 1985.

ヨシノコブガ *Rhynchopalpus melancholica* (Wileman & West)

1♂, 1. vi. 1977 ; 1♀, 8. viii. 1979.

トビモンシロコブガ *R. albula pacifica* (Inoue)

1♂, 17. vi. 1991.

ヤガ科 NOCTUIDAE

此の科は一番沢山とれているので、私たちのリストに入っていない種が相当あると思うが、今のところよく調べていないので、何れこの科によく通じている人に見てもらい、埼玉県昆虫誌に収録してもらいたいと思う。

トビロリンガ *Siglophora ferreilutea* Hampson

1♀, 16. x. 1997.

オニベニシタバ *Catocala dula* Bremer

1♂, 5. vii. 1997.

マメチャイロヨトウ *Mythimna consanguis* (Guenee)

このごく普通のヤガは、当地でも何頭かとなっているが、これに近い *M. snelleni* Hreblay, [1997], *Esperiana* 4 : 143 という新種の産地のひとつとして仏子で1975年3月に私がとった1♀が記録されている。その標本は、私が寄贈した他の蛾類と一緒に大英自然史博物館に所蔵されている。*E. snelleni* の分布はパキスタン、インド、ネパール、中国、タイ国、スマトラ、ジャワで、日本産は上記の1♀だけなので、マメチャイロヨトウを間違えて新種のなかへ入れてしまったのかもしれない。何れにしろ、更に気をつけて採集し、本当に2種が日本にいるのかどうか調べる必要がある。

(いのうえ ひろし 〒358-0053 入間市仏子311-2)

.....

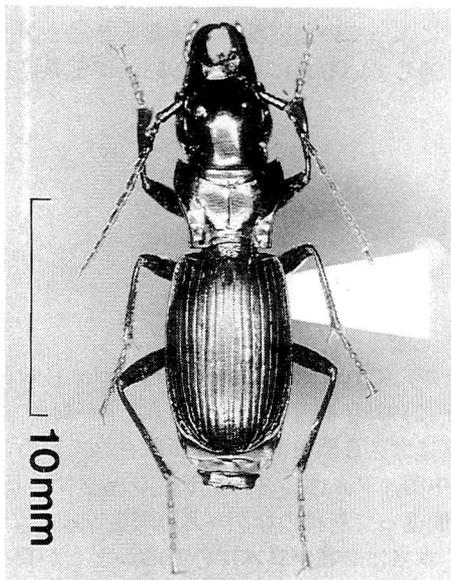
埼玉県でニッコウオオズナガゴミムシを採集

豊田 浩二

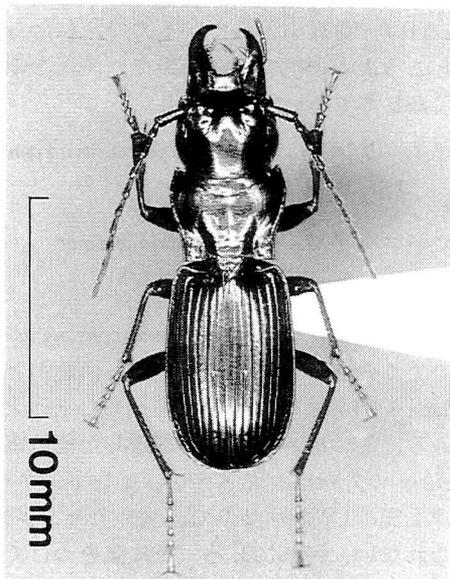
.....

Pterostichus macurogenis BATES ニッコウオオズナガゴミムシは、頭部が巨大に発達しており、その特異な姿ゆえに日本産ナガゴミムシ類の中ではとても人気の高い種である。分類学上の問題はあがるが、一応関東周辺から東北地方にかけて分布するものとされ、浅間山や赤城山あたりでは個体数も比較的多いようである。しかし、奥多摩山地ではなかなか見つけにくく、良好な状態の自然林と、その林床下にあるガレ場が残っていないと採集は難しい。本種の分布域については群馬県と東京都の間の秩父山系、すなわち埼玉県が空白状態であったが、今回筆者は秩父山系の2ヶ所において本種を得ることが出来たので報告する。

- 1 ♀, 27-IX-1997, 大滝村地蔵峠 (1,520 m alt.) , 筆者採集 (ベイトトラップ) , 保管.
- 1 ♂ 2 ♀ ♀, 12-X-1997, 東秩父村白石峠 (700 m alt.) , 筆者及び橋村正雄採集, 保管.



大滝村地蔵峠産♀



東秩父村白石峠産♀

大滝村地蔵峠については、筆者がオサムシ類2種を採集した場所と同じである。隙間の大きいガレ場にはハシリドコロが群生し、地下を掘り進むとひんやりとしていた。ペイトトラップには他に *P. mucronatus* ヤツオオナガゴミムシが大量に落ちており、オクタマ、カタシナ、ミヤマ等のプテロ（広義のナガゴミムシ亜属）も見られた。また、複眼が小さく全身銜色で巨大な *Quedius* sp. ツヤムネハネカクシの一種が得られている。

白石峠については外秩父山地で標高も低く意外であるが、比較的良好な自然林が一部残されており、ガレ場にはやはりハシリドコロやウスバサイシン、カタクリなどが豊富に見られる。当地のプテロについては豊田(1997-A)、豊田(1997-B)で既に記録しており、良好な場所であることは重々承知していたが、まさか本種が得られるとは思っていなかっただけに、黒光りする巨大なオオズが地下浅層から現れた瞬間はまさに絶叫ものであった。

本種の好む地下環境について、筆者の観察や聞いた話を基に簡単に述べてみると、普通のプテロが得られる塊の石が積み重なったガレ場よりはむしろ、平べったくて掘ると「シャリシャリ…」と音のする様な、地下に土の落ちていないひんやりとした部分にて、大量のガロアムシと共に得られることが多いようである。奥多摩山地でも同様の環境で得られているが、浅間山辺りでは決してこの様な場所に限ったものではないようで、興味を惹くところである。

末筆ではあるが、本種の生息環境について御教示いただいた東京都世田谷区の佐藤陽路樹、採集に御同行いただいた東京都足立区の橋村正雄、東京農業大学昆虫学研究室の新井志保、吉武 啓の各氏に厚く御礼申し上げます。

参考文献

- 豊田浩二(1997-A). プテロ採集記録, プテロニュース(17): 12.
 豊田浩二(1997-B). プテロ採集記録, プテロニュース(18): 10.

(とよだ こうじ 〒355-0221 比企郡嵐山町菅谷686)

.....

大宮市にてクロコノマチョウを採集

豊田 浩二

.....

大宮市大和田公園脇を流れる芝川の脇にて、*Melanitis phedima oitensis* クロコノマチョウを採集しているので報告する。

1頭, 1994, 大宮市寿能町芝川河畔林, 筆者採集, 保管。

なお、このとき筆者はネットを所持しておらず、はたき落としたため標本は少々傷んではいませんが、新鮮な秋型であり当地で発生した可能性が高い。

(とよだ こうじ 〒355-0221 比企郡嵐山町菅谷686)

.....

奥秩父で得られたオサムシ2種の記録

豊田 浩二

.....

埼玉県内において奥秩父地方でのみ得られているオサムシ類は *Carabus vanvolxemi* ホソアカガネオサムシ, *C. harmandi* ホソヒメクロオサムシ (アルマンオサムシ), *C. arboreus* コクロナガオサムシの3種が知られている。特に *C. harmandi* と *C. arboreus* は比較的良く調査が進んでおり、生態についても若干の報告がある。筆者は奥秩父地方にてナガゴミムシ類を採集の際に、これら2種のオサムシ類を採集しているので生息地の環境等も踏まえて報告する。

大滝村三峰神社より雲取山へ向かう緩やかな登山道を進むこと1時間、地蔵峠 (1,520 m) の手前を谷間へ降りて行くと、天然林の林床にはやや疎らにシダ類が生え、所々に小さめの岩がガレ場を形成している。こうした場所には *Pterostichus* ナガゴミムシ類が多産する事からサナギ粉を使ったベイトトラップを数十個仕掛けたところ、1週間後の回収時には多くのナガゴミムシと共にオサムシ類2種が得られた。採集データを以下に示す。

1. *Carabus (Tomocarabus) harmandi okutamaensis* (ISHIKAWA)
 ホソヒメクロオサムシ (亜種: オクタマアルマンオサムシ)
 1♂2♀♀, 27-IX-1997, 埼玉県秩父郡大滝村地蔵峠 (1,520 m alt) .
2. *C. (Leptocarabus) arboreus ogurai* ISHIKAWA
 コクロナガオサムシ (亜種: チチブホソクロナガオサムシ)
 6♂♂10♀♀, 同日, 同所.

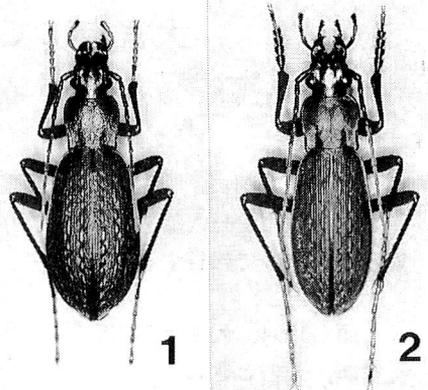
いずれも筆者採集, 筆者及び水沢清行保管。

なお, *C. harmandi* については地蔵峠で得られたのは今回が初めての様である。

末筆ながらオサムシ類について御教示頂いた神奈川県横須賀市の水沢清行氏に、採集に同行していただいた日高市の新井志保嬢に厚く御礼申し上げる。

参考文献

- 井村有希・水沢清行(1996). 世界のオサムシ大図鑑
 むし社.
 吉越 肇他(1998). 埼玉県の鞘翅目 (甲虫類), 埼玉
 県昆虫誌Ⅲ: 93-340.



(とよだ こうじ 〒355-0221 比企郡嵐山町菅谷686)

.....

埼玉県における甲虫類の記録 1994~'96

豊田 浩二

.....

筆者は1990年より埼玉県内の甲虫相調査を行っている。今回はその中から同定が済んでいるものについて、一部ではあるがまとめてみたので報告する。

本稿では、筆者が1994年から'96年にかけて、主として冬季に採集した埼玉県産甲虫類233種の記録を種類ごとに表した。採集例の少ない種や生態に関する知見の乏しいもの、産地の現状が危機的状況にあるものなどについては、参考までに採集状況等を加えてみた。なお、データは種名(和名, 学名), 頭数(雌雄の判別できたものは♂, ♀を使用), 採集地, 採集年月日の順で示した。学名については基本的には日本産昆虫総目録(1989)に従った。ハネカクシ科については, A. F. Newton & M. K. Thayer (1992)に従いデオキノコムシ科をハネカクシの亜科として扱った。

コウチュウ目 COLEOPTERA

ナガヒラタムシ科 Cupedidae

- ・ナガヒラタムシ *Tenomerga mucida* (CHEVROLAT)
1ex., 都幾川村大野峠(850m alt.), 2.VIII.1996.

セスジムシ科 Rhysodidae

- ・ホソセスジムシ *Yamatosa nipponensis* (LEWIS)
1ex., 大滝村中津川溪谷中津川(800m alt.), 3.V.1995.
沢沿いにある広葉樹の立枯れの樹皮下にて採集。県内の記録は山岳地帯に集中している。

ハンミョウ科 Cicindelidae

- ・コニワハンミョウ *Cicindela transbaicalica japonensis* CHAUDOIR
2♂♂2♀♀., 寄居町玉淀荒川周辺, 5.VIII.1995.
河川敷の砂地が観光地化してしまい, 自動車侵入等の影響もあつてか, 個体数は次種と共に非常に少ない。以前同地にて記録のあるカワラハンミョウは, このときは見られなかった。
- ・エリザハンミョウ *C. elisae elisae* MOTSCHULSKY
2♂♂., 寄居町玉淀荒川周辺, 5.VIII.1995.

オサムシ科 Carabidae

- ・アオオサムシ *Carabus insulicola insulicola* CHAUDOIR
2♀♀., 浦和市南部領辻, 10.XII.1995; 1♂1♀., 小川町西古里, 25.XI.1995;

- 1♂., 寄居町折原荒川周辺, 17.XII.1995; 1♂., 横瀬町宇根, 26th.X.1995.
- ・エサキオサムシ *Carabus albrechti esakianus* (NAKANE)
 - 2♂♂., 小川町仙元山山頂(299m alt.), 10.X.1995; 2♂♂1♀., 寄居町釜伏山(582m alt.), 11.VI.1995; 1♀., 寄居町円良田湖周辺, 23.XI.1995; 1♂1♀., 児玉町第二間瀬湖周辺, 2.XII.1995.
 - ・クロナガオサムシ *Leptocarabus procerulus procerulus* (CHAUDOIR)
 - 2♀♀., 浦和市南部領辻, 10.XII.1995.
 - ・ヒメマイマイカブリ *Damaster blaptoides oxuroides* (SCHAUM)
 - 1ex., 浦和市南部領辻, 10.XII.1995; 1ex., 寄居町折原荒川周辺, 17.XII.1995.
 - ・オオマルクビゴミムシ *Nebria macrogona* BATES
 - 1♀., 両神村小沢口小森川周辺, 23.XI.1996.
 - ・カワチマルクビゴミムシ *N. lewisi* BATES
 - 3♀♀., 東松山市上唐子都幾川周辺, 15.X.1995; 1♂2♀♀., 寄居町円良田湖, 23.XI.1995; 3♂♂1♀., 寄居町円良田湖, 19.XI.1996.
 - ・ミヤマメダカゴミムシ *Notiophilus impressifrons* MORAWITZ
 - 3exs., 寄居町釜伏山(582m alt.), 11.VI.1995; 1ex., 荒川村熊倉山聖尾根(800m alt.), 31.XII.1995.
 - 山の尾根付近で, 岩盤が露出しているような所に多く見られる.
 - ・ホソチビゴミムシ *Perileptus japonicus* BATES
 - 1ex., 東松山市都幾川蔵掛橋付近, 15.IX.1995.
 - ・ウスオビコミズギワゴミムシ *Paratachys sericans* (BATES)
 - 2exs., 寄居町円良田湖, 23.XI.1995.
 - ・アトモンミズギワゴミムシ *Bembidion niloticum batesi* PUTZEYS
 - 2♂♂5♀♀., 東松山市上唐子都幾川, 15.X.1995; 1♂., 横瀬町宇根(300m alt.), 26.X.1995.
 - ・キアシルリミズギワゴミムシ *B. trajectum* NETOLITZKY
 - 4♂♂1♀., 寄居町折原荒川周辺, 17.XII.1995; 1♀., 両神村小沢口小森川周辺, 23.XI.1996.
 - ・ウスモンミズギワゴミムシ *B. cnemidotum* BATES
 - 1♂3♀♀., 寄居町折原荒川周辺, 17.XII.1995.
 - ・アオミズギワゴミムシ *B. chloreum* BATES
 - 1ex., 寄居町円良田湖周辺, 23.XI.1995.
 - ・クロミズギワゴミムシ *B. oxyglymma* BATES
 - 1♀., 東松山市上唐子都幾川周辺, 15.X.1995.
 - ・ニッコウミズギワゴミムシ *B. misellum* HAROLD
 - 1♀., 横瀬町宇根(300m alt.), 26.X.1995.
 - ・ヒョウゴミズギワゴミムシ *B. hiogoense* BATES
 - 1♂1♀., 両神村小沢口小森川周辺, 23.XI.1996.
 - ・メダカチビカワゴミムシ *Asaphidion semilucidum* (MOTSCHULSKY)
 - 1ex., 秩父市橋立川オクスヤマ谷(900m alt.), 1.XII.1996.

- カワチゴミムシ *Diplous caligatus* BATES
1♂(f. *yezoensis*), 東松山市上唐子都幾川周辺, 15.X.1995.
- キンイロオオゴミムシ *Trigonognatha aurescens* BATES
1ex. (死骸), 両神村両神山清滝(1400m alt.), 23.XI.1996.
山地の沢沿いにて見られるが, あまり多くないようである.
- キバナガゴミムシ *Stomis prognathus* BATES (図1)
1♂., 両神村両神山清滝(1400m alt.), 7.VII.1996.
ガレ場の地中にて, プテロ (広義のナガゴミムシ亜属) の仲間と共に多く見られる.
- ヒロムネナガゴミムシ *Pterostichus dulcis* (BATES)
1♀., 両神村両神山日向大谷(700m alt.), 7.VII.1996.
- トックリナガゴミムシ *P. haptoderoides japonensis* LUTSHNIK
1♂., 寄居町折原荒川周辺, 17.XII.1995.
- ヒメホソナガゴミムシ *P. rotundangulus* MORAWITZ
3♂♂2♀♀., 横瀬町宇根(300m alt.), 16.XII.1995.
- ニッコウヒメナガゴミムシ *P. polygenus* BATES
1♂2♀♀., 寄居町釜伏山(582m alt.), 11.VI.1995; 1♀., 児玉町間瀬湖, 2.XII.1995.
- タカオヒメナガゴミムシ *P. takaosanus* HABU
1♂., 寄居町釜伏山(582m alt.), 11.VI.1995; 1♂., 両神村両神山日向大谷(700m alt.),
7.VII.1996.
- マルガタナガゴミムシ *P. subovatus* (MOTSCHULSKY)
1♂., 小鹿野町八丁峠(1300m alt.), 5.V.1995; 1♂., 両神村両神山日向大谷(700m alt.),
7.VII.1996.
- コガシラナガゴミムシ *P. microcephalus* (MOTSCHULSKY)
1♂1♀., 横瀬町宇根(300m alt.), 26.X.1995; 1♂., 小川町西古里, 25.XI.1995;
2♂♂3♀♀., 横瀬町宇根(300m alt.), 16.XII.1995.
- ヨリトモナガゴミムシ *P. yoritomus* BATES
1♀., 寄居町釜伏山(582m alt.), 11.VI.1995; 1♂., 秩父市丸山(900m alt.), 18.VIII.1995;
1♂., 浦和市南部領辻, 10.XII.1995; 1♂1♀., 両神村両神山日向大谷(700m alt.),
7.VII.1996; 1♀., 都幾川村大野峠(850m alt.), 2.VIII.1996.
- クロオオナガゴミムシ *P. leptis* BATES
1♂., 小鹿野町八丁峠(1300m alt.), 5.V.1995.
- ミヤマクロナガゴミムシ *P. karasawai* TANAKA
2♂♂., 小鹿野町八丁峠(1300m alt.), 5.V.1995; 1♀., 両神村両神山日向大谷(700m alt.),
7.VII.1996.
- トケジナガゴミムシ *P. tokejii* YOSHIDA et TANAKA
1♂. (死骸), 両神村両神山清滝(1400m alt.), 23.XI.1996.
両神山では本種は普通種である. ガレ場の地中や大きな石の下などに他のプテロと共に見られる. 同地においては本種の他に, オクタマ, カタシナ, ミヤマ, ハラトゲ, ウエノオオ, ジュンサイなどのプテロが見られる.
- ミトウナガゴミムシ *P. mitoyamanus* TANAKA

4♂♂., 秩父市橋立川(650m alt.), 1.XII.1996.

沢沿いのガレ場の地中より採集。プテロの越冬観察例は、ガレ場の地中深くというアプローチのしにくい環境のためか、極めて少ないようである。

- ・ヤマトクロヒラタゴミムシ *Platynus subovatus* (PUTZEYS)
1♀., 両神村両神山清滝(1400m alt.), 7.VII.1996.
秩父山地では山の尾根沿いにて多く見られる。
- ・オオヒラタゴミムシ *P. magnus* (BATES)
1♀., 東松山市上唐子都幾川周辺, 15.X.1995.
- ・アオグロヒラタゴミムシ *P. chalcomus* (BATES)
4♂♂2♀♀., 寄居町円良田湖周辺, 23.XI.1995 ; 1♀., 浦和市南部領辻, 10.XII.1995 ;
2♂♂5♀♀., 寄居町折原荒川周辺, 17.XII.1995.
- ・オグラヒラタゴミムシ *P. ogurae* (BATES) (図2)
1♂2♀♀., 寄居町円良田湖周辺, 23.XI.1995.
東日本では稀な種で、大きめの沼などでオオトックリゴミムシなどと共に得られる。関東では千葉県あたりにやや記録が見受けられる。
- ・ルリヒラタゴミムシ *Dicranoncus femoralis* CHAUDOIR
1♂1♀., 横瀬町宇根(300m alt.), 16.XII.1995.
- ・ホソヒラタゴミムシ *Pristosia aeneola* (BATES)
1♂1♀., 横瀬町宇根(300m alt.), 16.XII.1995 ; 1♂., 都幾川村大野峠(850m alt.),
2.VIII.1996.
- ・オオアオモリヒラタゴミムシ *Colpodes buchanani* HOPE
1♂., 寄居町円良田湖周辺, 23.XI.1995 ; 5♂♂1♀., 児玉町第二間瀬湖周辺, 4.XII.1996.
- ・ベントンモリヒラタゴミムシ *C. bentonis* BATES
2♀♀., 秩父市橋立川(650m alt.), 1.XII.1996.
- ・キンモリヒラタゴミムシ *C. sylphis stichai* JEDLICKA
1♀., 横瀬町宇根(300m alt.), 26.X.1995 ; 1♀., 寄居町円良田湖周辺, 23.XI.1995.
- ・クロモリヒラタゴミムシ *C. atricomus* BATES
1♀., 寄居町円良田湖, 23.XI.1995 ; 4♂♂., 児玉町第二間瀬湖周辺, 2.XII.1995 ;
3♀♀., 児玉町第二間瀬湖周辺, 4.XII.1996.
- ・クビアカモリヒラタゴミムシ *C. rubriolus* BATES
1♀., 児玉町第二間瀬湖周辺, 2.XII.1995.
- ・クロツヤヒラタゴミムシ *Synuchus cycloderus* (BATES)
2♂♂1♀., 小川町仙元山(299m alt.), 10.X.1995.
- ・ヒメツヤヒラタゴミムシ *S. dulcigradus* (BATES)
2♂♂8♀♀., 小川町仙元山(299m alt.), 10.X.1995.
- ・マルガタツヤヒラタゴミムシ *S. arcuaticollis* (MOTSCHULSKY)
5♂♂9♀♀., 小川町仙元山(299m alt.), 10.X.1995 ; 1♀., 児玉町第二間瀬湖周辺,
2.XII.1995.
- ・オオクロツヤヒラタゴミムシ *S. nitidus* (MOTSCHULSKY)
3♀♀., 小川町仙元山(299m alt.), 10.X.1995 ; 7♂♂1♀., 横瀬町宇根(300m alt.),

26.X.1995.

- ・ ホソツヤヒラタゴミムシ *S. atricolor* (BATES)
1♂., 横瀬町宇根(300m alt.), 26.X.1995.
- ・ ナガマルガタゴミムシ *Amara macronota ovalipennis* JEDLICKA
1♀., 両神村小沢口小森川周辺, 23.XI.1996.
- ・ コマルガタゴミムシ *A. simplicidens* MORAWITZ
1♂., 東松山市上唐子都幾川周辺, 15.X.1995 ; 1♂., 横瀬町宇根(300m alt.), 26.X.1995 ;
1♂., 寄居町円良田湖周辺, 23.XI.1995 ; 1♂1♀., 寄居町円良田湖周辺, 19.XI.1996.
- ・ オオマルガタゴミムシ *A. gigantea* (MOTSCHULSKY)
1♀., 東松山市上唐子都幾川周辺, 15.X.1995.
- ・ ゴミムシ *Anisodactylus signatus* (PANZER)
1♂2♀♀., 寄居町円良田湖周辺, 19.XI.1996.
- ・ ホシボシゴミムシ *A. punctatipennis* MORAWITZ
1♂., 東秩父村秩父高原牧場(600m alt.), 26.VII.1994 ; 1♂., 児玉町第二間瀬湖周辺,
2.XII.1995 ; 1♂., 浦和市南部領辻, 10.XII.1995.
- ・ オオゴモクムシ *Harpalus capito* MORAWITZ
1♂., 東松山市上唐子都幾川周辺, 15.X.1995.
- ・ ヒメケゴモクムシ *H. jureceki* (JEDLICKA)
1♂., 横瀬町宇根(300m alt.), 16.XII.1995.
- ・ ウスアカクロゴモクムシ *H. sinicus* HOPE
2♂♂., 東松山市都幾川蔵掛橋付近, 15.IX.1995.
- ・ オオズヒメゴモクムシ *Bradycellus grandiceps* (BATES)
1♀., 横瀬町宇根(300m alt.), 26.X.1995.
石灰岩採掘場の裏にある, 谷津の中の小さな池にて得られた.
- ・ ナガマメゴモクムシ *Stenolophus agonoides* BATES
8♂♂3♀♀., 横瀬町宇根(300m alt.), 26.X.1995.
- ・ ムネアカマメゴモクムシ *S. propinquus* MORAWITZ
1♀., 横瀬町宇根(300m alt.), 16.XII.1995.
- ・ キベリチビゴモクムシ *Dicheirotichus tenuimanus* (BATES)
1♂., 寄居町折原荒川周辺, 17.XII.1995.
- ・ キベリゴモクムシ *Anoplogenus cyanescens* (HOPE)
3♀♀., 寄居町円良田湖周辺, 23.XI.1995.
- ・ オオスナハラゴミムシ *Diplocheila zeelandica* (REDTENBACHER)
1♂., 浦和市南部領辻, 10.XII.1995.
- ・ ヨツボシゴミムシ *Panagaeus japonicus* CHAUDOIR
2♀♀., 浦和市南部領辻, 10.XII.1995 ; 1♂., 横瀬町宇根(300m alt.), 16.XII.1995.
- ・ スジアオゴミムシ *Haplochlaenius costiger* (CHAUDOIR)
3♂♂1♀., 浦和市南部領辻, 10.XII.1995.
- ・ コキベリアオゴミムシ *C. circumdatus* BRULLE
3♂♂1♀., 寄居町円良田湖周辺, 19.XI.1996 ; 1♀., 浦和市南部領辻, 10.XII.1995.

ベチャベチャの湿地に多く見られる普通種。

- ・ヒメキベリアオゴミムシ *C. inops* CHAUDOIR
1♀., 小川町西古里, 25.XI.1995; 2♀♀., 浦和市南部領辻, 10.XII.1995.
- ・アトボシアオゴミムシ *Chlaenius naeviger* MORAWITZ
1♀., 寄居町釜伏峠(500m alt.), 20.VI.1995; 1♂., 小川町仙元山(299m alt.), 10.X.1995.
- ・アオゴミムシ *C. pallipes* GEBLER
1♀., 東松山市上唐子都幾川周辺, 15.X.1995; 2♂♂4♀♀., 浦和市南部領辻, 10.XII.1995; 1♂2♀♀., 横瀬町宇根(300m alt.), 16.XII.1995.
- ・ニセコガシラアオゴミムシ *C. kurosawai* KASAHARA
1♀., 東松山市都幾川蔵掛橋付近, 15.IX.1995; 1♂., 寄居町円良田湖周辺, 23.XI.1995; 2♀♀., 小川町西古里, 25.XI.1995; 3♂♂5♀♀., 浦和市南部領辻, 10.XII.1995.
- ・クロヒゲアオゴミムシ *C. ocreatus* BATES
1♀., 児玉町第二間瀬湖周辺, 2.XII.1995.
- ・ノグチアオゴミムシ *C. noguchii* (BATES) (図3)
1♂., 寄居町玉淀荒川周辺, 5.VIII.1995; 1♂4♀♀., 東松山市都幾川蔵掛橋付近, 15.IX.1995.
水辺の大きめの石の下に生息する。荒川の生息環境は人の横行が激しい場所で、石が焚き火に使われる等かなり荒らされてしまっており、個体数は少ないようであった。なお、本種の学名については、MORITA(1993)で本種の属する *Lithochlaenius* を *Chlaenius* の亜属として扱っているのので、筆者もこれになった。
- ・オオトックリゴミムシ *Oodes vicarius* BATES
4♂♂4♀♀., 寄居町円良田湖, 23.XI.1995; 1♀., 寄居町円良田湖, 19.XI.1996.
大きな河川沿いの湿地や人工的な湖に見られるが、埼玉県では決して多くはない。
- ・ヤホシゴミムシ *Lebidia octoguttata* MORAWITZ
4exs., 小川町西古里, 25.XI.1995.
- ・ヒラタアトキリゴミムシ *Parena cavipennis* (BATES)
1ex., 児玉町第二間瀬湖周辺, 2.XII.1995; 2exs., 浦和市南部領辻, 10.XII.1995.
- ・ベーツホソアトキリゴミムシ *Dromius batesi* HABU
1ex., 両神村両神山清滝(1400m alt.), 23.XI.1996.
- ・フトヒゲホソアトキリゴミムシ *D. crassipalpis* BATES
3exs., 秩父市橋立川オクスヤマ谷(900m alt.), 1.XII.1996.
全国的に見ても採集例の少ない種である。ケヤキなどの大木の樹皮をめくると、越冬中の個体が見受けられた。
- ・スジミズアトキリゴミムシ *Apristus grandis* ANDREWES
3exs., 寄居町円良田湖周辺, 19.XI.1996.
本来は河川の水際で石の下に多く見られる種である。
- ・アオヘリホソゴミムシ *Drypta japonica* BATES
2exs., 浦和市南部領辻, 10.XII.1995.

ホソクビゴミムシ科 Brachinidae

- ・ミイデラゴミムシ *Pheropsophus jessoensis* MORAWITZ
1ex., 浦和市南部領辻, 10.XII.1995; 1ex., 横瀬町宇根(300m alt.), 16.XII.1995.
- ・オオホソクビゴミムシ *Brachinus scotomedes* REDTENBACHER
2exs., 浦和市南部領辻, 10.XII.1995; 2exs., 横瀬町宇根(300m alt.), 16.XII.1995.

ゲンゴロウ科 *Dytiscidae*

- ・ヒメゲンゴロウ *Rhantus pulverosus* (STEPHENS)
2♀♀., 横瀬町宇根(300m alt.), 26.X.1995.
- ・コシマゲンゴロウ *Hydaticus grammicus* (GERMAR)
2♂♂., 横瀬町宇根(300m alt.), 26.X.1995.

ガムシ科 *Hydrophilidae*

- ・シジミガムシ *Laccobius bedeli* SHARP
2exs., 両神村小沢口小森川周辺, 23.XI.1996.
- ・キベリヒラタガムシ *Enochrus japonicus* (SHARP)
1ex., 横瀬町宇根(300m alt.), 26.X.1995.

タマキノコムシ科 *Leiodidae*

- ・ハバピロタマキノコムシ *Anisotoma curta* (PORTEVIN)
1ex., 秩父市橋立川オクスヤマ谷(900m alt.), 1.XII.1996.
- ・オビスジタマキノコムシ *A. didymata* (PORTEVIN)
1♀., 秩父市橋立川(600m alt.), 28.XII.1995.
- ・アカバマルタマキノコムシ *Sphaeroliodes rufescens* PORTEVIN
2exs., 秩父市橋立川オクスヤマ谷(900m alt.), 1.XII.1996.
大型で他の種と識別しやすい色彩である。立ち枯れの樹皮下より得られた。

チビシデムシ科 *Catopidae*

- ・ホソムネコチビシデムシ *Mesocatops japonicus* (JEANNEL)
1♀., 寄居町釜伏峠(500m alt.)~釜伏山(582m alt.), 11.VI.1995.

シデムシ科 *Silphidae*

- ・クロツヤシデムシ *Pteroloma koebelei* VAN DYKE (図4)
1ex., 両神村両神山清滝(1400m alt.), 7.VII.1996.
清滝の周辺にあるガレ場の地中より得られた。秩父地方で得られる個体は黒褐色から黒色の色彩を呈するものが多い。

ハネカクシ科 *Staphylinidae*

- ・シリアカデオキノコムシ *Scaphidium rufopygum* LEWIS
1ex. (死骸), 秩父市橋立川(600m alt.), 28.XII.1995.
比較的珍しく、筆者は東京都の高尾山にて、朽ち木の地面に接した部分から越冬個体を採

集している。この死骸もほぼ同様の状況にて得られた。

- ・カメノコデオキノコムシ *Cyparium mikado* ACHARD
1ex., 両神村両神山日向大谷(700m alt.), 7.VII.1996.
- ・オサシデムシモドキ *Apatetica princeps* (SHARP)
14exs., 児玉町第二間瀬湖, 2.XII.1995 ; 2exs., 児玉町第二間瀬湖, 4.XII.1996.
沢沿いの砂質の土手より得られた。草(ススキ)の根の下に多く越冬していた。
- ・クロツヤハネカクシ *Priochirus japonicus* SHARP
4exs., 大滝村中津川溪谷(800m alt.), 3.V.1995.

マルハナノミ科 Helodidae

- ・トビイロマルハナノミ *Scirtes japonicus* KIESENWETTER
3exs., 東秩父村安戸槻川周辺, 2.I.1996.

クワガタムシ科 Lucanidae

- ・ミヤマクワガタ *Lucanus maculifemoratus* MOTSCHULSKY
1♂. (死骸), 小川町仙元山(299m alt.), 10.X.1995.
- ・アカアシクワガタ *Nipponodorcus rubrofemoratus* (SNELLEN VAN VOLLENHOVEN)
1♂. (死骸), 大滝村中津川溪谷(800m alt.), 3.V.1995.
朽ち木中より死骸が得られた。

センチコガネ科 Geotrupidae

- ・センチコガネ *Geotrupes laevistriatus* MOTSCHULSKY
1♂2♀♀., 秩父市丸山(900m alt.), 18.VIII.1995 ; 2♀♀., 小川町仙元山(299m alt.),
10.X.1995 ; 2♀♀., 横瀬町宇根(300m alt.), 26.X.1995.

コガネムシ科 Scarabaeidae

- ・ツノコガネ *Liatongus phanaeoides* (WESTWOOD) (図5)
15♂♂25♀♀., 東秩父村秩父高原牧場(600m alt.), 26.VII.1994.
日陰の牛糞にて, 大型の個体が多数見られた。
- ・カドマルエンマコガネ *Onthophagus lenzii* HAROLD
1♀., 東秩父村秩父高原牧場(600m alt.), 26.VII.1994 ; 1♂., 寄居町釜伏峠(500m alt.),
20.VI.1995.
- ・クロマルエンマコガネ *O. ater* WATERHOUSE
2♂♂2♀♀., 寄居町釜伏峠(500m alt.), 20.VI.1995 ; 1♂., 横瀬町宇根(300m alt.),
26.X.1995.
- ・コブマルエンマコガネ *O. atripennis* WATERHOUSE
2♂♂., 東秩父村秩父高原牧場(600m alt.), 26.VII.1994.
- ・ツヤエンマコガネ *O. nitidus* WATERHOUSE
1ex., 浦和市南部領辻, 10.XII.1995.
エンマコガネ類の越冬場所は土の中である。ゴミムシ採集の際に赤土の崖から掘り出した。

- ・オオマグソコガネ *Aphodius haroldianus* BALTHASAR
3exs., 寄居町釜伏峠(500m alt.), 20.VI.1995.
- ・フチケマグソコガネ *A. urostigma* HAROLD
5exs., 東秩父村秩父高原牧場(600m alt.), 26.VII.1994.
- ・チャグロマグソコガネ *A. isaburoi masumotoi* NAKANE
7exs., 両神村両神山清滝(1400m alt.), 23.XI.1996.
沢沿いの鹿の糞にて採集.
- ・ハイイロビロウドコガネ *Paraserica gricea* MOTSCHULSKY
1♂1♀., 都幾川村大野峠(850m alt.), 2.VIII.1996.
- ・コヒゲシマビロウドコガネ *Gastroserica brevicornis* (LEWIS)
1ex., 都幾川村大野峠(850m alt.), 2.VIII.1996.
- ・カミヤビロウドコガネ *Maladera kamiyai* SAWADA
1ex., 両神村小沢口小森川周辺, 23.XI.1996.
平地に多く見られる.
- ・ヒメビロウドコガネ *M. orientalis* (MOTSCHULSKY)
2exs., 寄居町釜伏山(582m alt.), 11.VI.1995.
- ・ヒゲナガビロウドコガネ *Serica boops* WATERHOUSE
1♀., 秩父市丸山(900m alt.), 18.VIII.1995.
- ・サクラコガネ *Anomala daimiana* HAROLD
1ex., 秩父市丸山(900m alt.), 18.VIII.1995.
- ・オオスジコガネ *Mimela costata* HOPE
1ex., 両神村両神山日向大谷(700m alt.), 7.VII.1996.
- ・コアオハナムグリ *Oxycetonia jucunda* (FALDERMANN)
1ex., 寄居町釜伏山(582m alt.), 11.VI.1995.

ヒラタドロムシ科 *Psephenidae*

- ・ヒラタドロムシ *Mataeopsephus japonicus* (MATSUMURA)
1ex. (幼虫), 東松山市上唐子都幾川周辺, 15.X.1995.

タマムシ科 *Buprestidae*

- ・クロナガタマムシ *Agrilus cyaneoniger* E.SAUNDERS
1ex., 秩父市丸山(900m alt.), 18.VIII.1995.
- ・ヒシモンナガタマムシ *A. discalis* E.SAUNDERS
1ex., 寄居町折原荒川周辺, 17.XII.1995.
本種はよくスギの生木の樹皮下にて越冬しているのが見られる.
- ・コウゾチビタマムシ *Trachys broussonetiae* T.KUROSAWA
1ex., 大滝村中津川溪谷(800m alt.), 4.V.1995.
- ・ナミガタチビタマムシ *T. griseofasciata* E.SAUNDERS
7exs., 寄居町折原荒川周辺, 17.XII.1995 ; 11exs., 東秩父村安戸槻川周辺, 2.I.1996.

コメツキムシ科 *Elaterridae*

- ・サビキコリ *Agrypnus binodulus* (MOTSCHULSKY)
1ex., 浦和市秋ヶ瀬公園, 12.X.1995.
- ・ムナビロサビキコリ *A. cordicollis* (CANDEZE)
1ex., 大滝村中津川溪谷(800m alt.), 3.V.1995.
- ・ヒメサビキコリ *A. scrofa* (CANDEZE)
1ex., 大滝村中津川溪谷(800m alt.), 3.V.1995; 1♂., 東松山市上唐子都幾川周辺,
15.X.1995; 23exs., 寄居町折原荒川周辺, 17.XII.1995; 3exs., 両神村小沢口小森川
周辺, 23.XI.1996.
- ・クロコハナコメツキ *Paracardiophorus opacus* LEWIS
1ex., 寄居町折原荒川周辺, 17.XII.1995.
- ・ヒゲコメツキ *Pectocera fortunei* CANDEZE
1♀., 寄居町釜伏山(582m alt.), 11.VI.1995; 1♀., 児玉町第二間瀬湖周辺, 2.XII.1995.
- ・クロナガヒラタコメツキ *Paraphotistus praenobilis* (LEWIS)
1ex. (死骸), 寄居町釜伏山(582m alt.), 11.VI.1995.
- ・アカハラクロコメツキ *Ampedus hypogastricus* (CANDEZE)
2exs., 小川町西古里, 25.XI.1995.
- ・クロクシコメツキ *Melanotus senilis* CANDEZE
1♂., 寄居町釜伏山(582m alt.), 11.VI.1995.

コメツキダマシ科 *Eucnemidae*

- ・オニコメツキダマシ *Hylochaeres harmandi* FLEUTIAUX
1ex. (死骸), 秩父市橋立川オクスヤマ谷(900m alt.), 1.XII.1996.

ホソクシヒゲムシ科 *Callirhipidae*

- ・ムネアカクシヒゲムシ *Horatocera niponica* LEWIS (図6)
1ex. (死骸), 両神村両神山清滝(1400m alt.), 19.XI.1996.
沢沿いの朽ち木中より死骸が得られた。触角等が失われており、雌雄の判別が出来ない。

ベニボタル科 *Lycidae*

- ・クシヒゲベニボタル *Macrolycus flabellatus* (MOTSCHULSKY)
2♀♀., 寄居町釜伏山(582m alt.), 11.VI.1995.
- ・ヒメカクムネベニボタル *Lyponia osawai* NAKANE
1♂., 寄居町釜伏山(582m alt.), 11.VI.1995.
- ・メダカヒシベニボタル *Dictyoptera gorhami* (KONO)
1♂., 大滝村中津川溪谷(800m alt.), 3.V.1995.

ジョウカイボン科 *Cantharidae*

- ・ウスチャジョウカイ *Athemellus insulsus* (HAROLD)
1ex., 小鹿野町八丁峠(1300m alt.), 5.V.1995.

コクヌスト科 *Trogossitidae*

- ・ハロルドヒメコクヌスト *Ancyrona haroldi* REITTER
2exs., 東秩父村安戸槻川周辺, 2.I.1996.

ジョウカイモドキ科 *Melyridae*

- ・ヒメジョウカイモドキ *Attalus japonicus* KIESENWETTER (図7)
2♂♂2♀♀., 釜伏山(582m alt.), 11.VI.1995.
山の稜線沿いで、吹き上げられてくる個体が多数見られた。

ケシクスイ科 *Nitidulidae*

- ・ヘリグロヒラタケシクスイ *Omosita discoidea* (FABRICIUS)
1ex., 大滝村中津川溪谷(800m alt.), 3.V.1995.
- ・キノコヒラタケシクスイ *Physoronia explanata* REITTER
5exs., 大滝村中津川溪谷(800m alt.), 3.V.1995.
- ・ハネナガヒラタケシクスイ *Epuraea longula* ERICHSON
1ex., 寄居町釜伏峠(500m alt.)~釜伏山(582m alt.), 11.VI.1995.
- ・ケモンケシクスイ *Atarphia fasciculata* REITTER
1♀., 寄居町釜伏峠(500m alt.)~釜伏山(582m alt.), 11.VI.1995.
- ・タテスジマルケシクスイ *Neopallodes omogonis* HISAMATSU
2exs., 秩父市橋立川オクスヤマ谷(900m alt.), 1.XII.1996.

ネスイムシ科 *Rhizophagidae*

- ・ヤマトネスイ *Rhizophagus japonicus* REITTER
1ex., 両神村両神山清滝(1400m alt.), 19.XI.1996 ; 1ex., 秩父市橋立川オクスヤマ谷(900m alt.), 1.XII.1996.

ヒラタムシ科 *Cucujidae*

- ・ベニヒラタムシ *Cucujus coccinatus* LEWIS
2exs., 大滝村中津川溪谷(800m alt.), 3.V.1995 ; 1ex., 秩父市橋立川(600m alt.), 28.XII.1995 ; 2exs., 両神村両神山清滝(1400m alt.), 19.XI.1996 ; 13exs., 秩父市橋立川オクスヤマ谷(900m alt.), 1.XII.1996.
朽ち木や生きた広葉樹の樹皮下に多く見受けられる。
- ・ヒゲナガヒメヒラタムシ *Dendrophagus longicornis* REITTER (図8)
1ex., 両神村両神山清滝(1400m alt.), 19.XI.1996 ; 13exs., 秩父市橋立川オクスヤマ谷(900m alt.), 1.XII.1996.
少ない種であるが、オクスヤマ谷では沢にある倒木の樹皮下に多くの個体が見られた。天然林が広がり、武甲山周辺の環境が今でも良く残っている場所である。
- ・ヒメヒラタムシ *Uleiota arborea* (REITTER)
1ex., 大滝村中津川溪谷(800m alt.), 3.V.1995 ; 1ex., 秩父市橋立川(600m alt.),

28.XII.1995 ; 1ex., 両神村両神山清滝(1400m alt.), 19.XI.1996 ; 1ex., 秩父市橋立川
オクスヤマ谷(900m alt.), 1.XII.1996.

ホソヒラタムシ科 *Silvanidae*

- ・ホソヒラタクスイ *Silvanoprus inermis* (REITTER)
3exs., 東秩父村安戸槻川周辺, 2.I.1996.

オオクスイムシ科 *Helotidae*

- ・ムナビロオオクスイ *Helota fulviventris* KOLBE
1♂., 秩父市橋立川(600m alt.), 28.XII.1995.
広葉樹の樹皮下より, ミドリオオクスイと共に越冬中の個体が得られた.
- ・ミドリオオクスイ *H. cereopunctata* LEWIS
2exs., 秩父市橋立川(600m alt.), 28.XII.1995 ; 3exs., 秩父市橋立川オクスヤマ谷
(900m alt.), 1.XII.1996.

クスイモドキ科 *Byturidae*

- ・クスイモドキ *Byturus affinis* REITTER
1ex., 大滝村中津川溪谷(800m alt.), 3-4.V.1995.

コメツキモドキ科 *Languriidae*

- ・ルイスコメツキモドキ *Languriomorpha lewisi* (CROTCH)
1ex., 都幾川村大野峠(850m alt.), 2.VIII.1996.
日当たりの良い葉上にて, 静止している個体が見られる.

オオキノコムシ科 *Erotylidae*

- ・クロチビオオキノコ *Tritoma niponensis* (LEWIS)
2exs., 大滝村中津川溪谷(800m alt.), 3-4.V.1995.
- ・キベリハバビロオオキノコ *T. pallidicincta* (LEWIS)
1ex. (死骸), 大滝村中津川溪谷(800m alt.), 3-4.V.1995.

ミジンムシ科 *Corylophidae*

- ・ベニモンツヤミジンムシ *Parmulus politus* (MATTHEWS)
1ex., 浦和市南部領辻, 10.XII.1995.
- ・ナカグロミジンムシ *Arthrolips lewisii* MATTHEWS
1ex., 東秩父村安戸槻川周辺, 2.I.1996.
- ・テントウムシジンムシ *Corylophodes punctipennis* MATTHEWS
1ex., 東秩父村安戸槻川周辺, 2.I.1996.

テントウムシダマシ科 *Endomychidae*

- ・ヨツボシテントウダマシ *Ancylopus pictus* WIEDEMANN

1ex., 寄居町折原荒川周辺, 17.XII.1995.

- ・ トウヨウダナエテントウダマシ *Danae orientalis* (GORHAM)
1ex., 両神村両神山清滝(1400m alt.), 19.XI.1996.
沢の源頭部にて, 岩に生える苔の中から採集した。(図9)

テントウムシ科 Coccinellidae

- ・ クロヒメテントウ *Scymnus japonicus* WEISE
1ex., 浦和市南部領辻, 10.XII.1995.
- ・ ムツボシテントウ *Sticholotis punctata* CROTCH
6exs., 東秩父村安戸槻川周辺, 2.I.1996.
- ・ ヒメアカホシテントウ *Chilocorus kuwanae* SILVESTRI
1ex., 小川町仙元山(299m alt.), 10.X.1995.
- ・ ウスキホシテントウ *Oenopia hirayamai* (YUASA)
3exs., 東秩父村安戸槻川周辺, 2.I.1996.
- ・ ナナホシテントウ *Coccinella septempunctata* LINNE
1ex., 東秩父村安戸槻川周辺, 2.I.1996.
- ・ シロトホシテントウ *Calvia decempunctata* (LINNE)
1ex., 秩父市丸山(900m alt.), 18.VIII.1995.
- ・ シロジュウシホシテントウ *C. quatuordecimguttata* (LINNE)
1ex., 荒川村白久~熊倉山聖尾根(700m alt.), 31.XII.1995.
聖尾根へ向かう途中の沢で, 大きなトチノキの樹皮下に見られた.
- ・ オオニジュウヤホシテントウ *Epilachna vigintioctomaculata* MOTSCHULSKY
8exs., 大滝村中津川溪谷(800m alt.), 3-4.V.1995.
キャンプ場周辺の下草に多数の個体が見受けられた.

ヒメマキムシ科 Lathridiidae

- ・ ムナボソヒメマキムシ *Stephostethus angusticollis* (GYLLENHAL)
1ex., 浦和市南部領辻, 10.XII.1995.

コキノコムシ科 Mycetophagidae

- ・ ヒレルコキノコムシ *Mycetophagus hillerianus* REITTER
3exs. (死骸), 寄居町折原荒川周辺, 17.XII.1995.
神社の境内にあるケヤキの樹皮下にて採集. 生きているものは得られなかった.

キノコムシダマシ科 Tetratomidae

- ・ キムネキノコムシダマシ *Tetratoma nobuchii* NAKANE
1ex., 秩父市橋立川(600m alt.), 28.XII.1995.
朽ちたケヤキの樹皮下より, 越冬中のものが得られた。(図10)

ハナノミ科 Mordellidae

- ・サトウヒメハナノミ *Falsomordellistena satoi* (NOMURA)
1ex., 寄居町釜伏山(582m alt.), 11.VI.1995.

カミキリモドキ科 *Oedemeridae*

- ・モモブトカミキリモドキ *Oedemeronia lucidiocollis* (MOTSCHULSKY)
1♂., 大滝村中津川溪谷(800m alt.), 3-4.V.1995.
- ・キアシカミキリモドキ *O. manicata* (LEWIS)
2♂♂., 寄居町釜伏峠(500m alt.)~釜伏山(582m alt.), 11.VI.1995.
山沿いに多い種。花に集まる。

アカハネムシ科 *Pyrochroidae*

- ・アカハネムシ *Pseudopyrochroa vestiflua* (LEWIS)
1♀., 寄居町釜伏山(582m alt.), 11.VI.1995.

アリモドキ科 *Anthicidae*

- ・キアシクビボソムシ *Macratria japonica* HAROLD
2exs., 浦和市南部領辻, 10.XII.1995.

ツチハンミョウ科 *Meloidae*

- ・メノコツチハンミョウ *Meloe menoko* KONO (図11)
1♂., 両神村両神山清滝(1400m alt.), 23.XI.1996.
清滝小屋周辺にて得られたが、登山者に踏まれたらしく、生きながらにしてその体は潰れていた。山地にて晩秋にのみ見られる。

ハナノミダマシ科 *Scraptiidae*

- ・ホソフナガタハナノミ *Pentaria elongata* (KONO)
1♂., 大滝村中津川溪谷(800m alt.), 3-4.V.1995.

ハムシダマシ科 *Lagriidae*

- ・アラメヒゲブトハムシダマシ *Luprops cribrifrons* MARSEUL
1ex., 浦和市南部領辻, 10.XII.1995.

クチキムシ科 *Alleculidae*

- ・クチキムシ *Allecula melanaria* MAKLIN
2exs., 浦和市南部領辻, 10.XII.1995.

ゴミムシダマシ科 *Tenebrionidae*

- ・ホソスナゴミムシダマシ *Gonocephalum sexuale* MARSEUL
6exs., 大滝村中津川溪谷(800m alt.), 3.V.1995 ; 1ex., 寄居町折原荒川周辺, 17.XII.1995.
- ・コスナゴミムシダマシ *G. coriaceum* MOTSCHULSKY
14exs., 寄居町折原荒川周辺, 17.XII.1995 ; 2exs., 両神村小沢口小森川周辺, 23.XI.1996

- ; 3exs., 寄居町円良田湖周辺, 19.XI.1996.
- ・カクスナゴミムシダマシ *G. reticolle* MOTSCHULSKY
2exs., 寄居町折原荒川周辺, 17.XII.1995.
- ・クワガタゴミムシダマシ *Atasthalomorpha dentifrons* (LEWIS)
3♂♂8♀♀., 両神村両神山清滝(1400m alt.), 19.XI.1996.
巨木の立ち枯れに生えた多孔菌類(恐らくサルノコシカケ)より得られた。キノコ自体は既に喰い尽くされ、スカスカの状態であった。
- ・スジコガシラゴミムシダマシ *Heterotarsus carinula* MARSEUL
4exs., 両神村小沢口小森川周辺, 23.XI.1996.
- ・ナガニジゴミムシダマシ *Ceropria induta* (WIEDEMANN)
1ex., 寄居町釜伏峠(500m alt.)~釜伏山(582m alt.), 20.VI.1995.
- ・クロホシテントウゴミムシダマシ *Derispia maculipennis* (MARSEUL)
6exs., 大滝村中津川溪谷(800m alt.), 3-4.V.1995; 1ex., 荒川村白久~熊倉山聖尾根(700m alt.), 31.XII.1995.
- ・ヨツコブゴミムシダマシ *Uloma bonzica* MARSEUL
1♂1♀., 横瀬町宇根(300m alt.), 16.XII.1995.
- ・ヒサゴゴミムシダマシ *Misolampidius rugipennis* LEWIS
1ex., 両神村両神山清滝(1400m alt.), 23.XI.1996.
- ・ツヤヒサゴゴミムシダマシ *M. okumurai* NAKANE
3exs., 秩父市橋立川(600m alt.), 28.XII.1995.
スギの切り株の樹皮をめくったところ、越冬中の個体が得られた。
- ・クロナガキマワリ *Strongylium niponicum* LEWIS
1ex., 秩父市丸山(900m alt.), 18.VIII.1995; 1ex., 都幾川村大野峠(850m alt.), 2.VIII.1996.
- ・コマルキマワリ *Elixota curva* (MARSEUL)
1ex., 秩父市橋立川(600m alt.), 28.XII.1995.

カミキリムシ科 *Cerambycidae*

- ・ヒゲシロハナカミキリ *Japanostrangalia dentatipennis* PIC
1♀., 都幾川村大野峠(850m alt.), 2.VIII.1996.
- ・ニンフハナカミキリ *Parastrangalis nymphula* (BATES)
5exs., 寄居町釜伏峠(500m alt.)~釜伏山(582m alt.), 11.VI.1995.
- ・マツシタトラカミキリ *Anaglyptus matsushitai* HAYASHI
1ex., 大滝村中津川溪谷(800m alt.), 3-4.V.1995.
- ・トゲヒゲトラカミキリ *Demonax transilis* BATES
3exs., 寄居町釜伏峠(500m alt.)~釜伏山(582m alt.), 11.VI.1995; 1ex., 都幾川村大野峠(850m alt.), 2.VIII.1996.
- ・ウスイロトラカミキリ *Xylotrechus cuneipennis* (KRAATZ)
1ex., 都幾川村大野峠(850m alt.), 2.VIII.1996.
- ・ニセシラホシカミキリ *Pareutetrappa simulans* (BATES)
1♀., 都幾川村大野峠(850m alt.), 2.VIII.1996.

- ・シラホシカミキリ *Glenea relicta* PASCOE
1♀., 都幾川村大野峠(850m alt.), 2.VIII.1996.
- ・ヒメリングカミキリ *Oberea hebescens* BATES
2exs., 都幾川村大野峠(850m alt.), 2.VIII.1996.
- ・ホソキリングカミキリ *O. infranigrescens* BREUNING (図12)
1ex., 都幾川村大野峠(850m alt.), 2.VIII.1996.
日中, 車道脇の土手にそって飛ぶのが見られた.
- ・ヘリグロリングカミキリ *Nupserha marginella* (BATES)
2exs., 都幾川村大野峠(850m alt.), 2.VIII.1996.

ハムシ科 Chrysomelidae

- ・キイロクビナガハムシ *Lilioceris rugata* (BALY)
2exs., 寄居町折原荒川周辺, 17.XII.1995.; 1ex., 東秩父村安戸槻川周辺, 2.I.1996.
- ・ルリクビボソハムシ *Lema cirscicola* CHUJO
1ex., 都幾川村大野峠(850m alt.), 2.VIII.1996.
アザミ類にみられ, 人が近づくとトゲの鋭い葉の間にポロリと落ちてしまう.
- ・トホシクビボソハムシ *L. decempunctata* GEBLER
3exs., 東秩父村安戸槻川周辺, 2.I.1996.
- ・ムナグロナガハムシ *Zeugophora bicolor* (KRAATZ)
1ex., 大滝村中津川溪谷(800m alt.), 3-4.V.1995.
- ・クルミハムシ *Gastrolina depressa* BALY
1ex. (死骸), 秩父市橋立川(600m alt.), 28.XII.1995.
- ・ミヤマヒラタハムシ *G. peltoidea* (GEBLER)
1ex., 大滝村中津川溪谷(800m alt.), 3-4.V.1995.
- ・ヤナギルリハムシ *Plagioderia versicolora* (LAICARTING)
1ex., 浦和市秋ヶ瀬公園, 12.X.1995.
- ・キクビアオハムシ *Agelasa nigriceps* MOTSCHULSKY
1ex., 荒川村白久~熊倉山聖尾根(700m alt.), 31.XII.1995.
- ・ジュンサイハムシ *Galerucella nipponensis* (LABOISSIERE)
47exs., 横瀬町宇根(300m alt.), 26.X.1995.
小さな池にわずかに残されたヒシ類で発生している. 非常に多くの個体が見られた.
- ・サングジュハムシ *G. nipponensis* (LABOISSIERE)
24exs., 浦和市秋ヶ瀬公園, 12.X.1995.; 1ex., 都幾川村大野峠(850m alt.), 2.VIII.1996.
- ・イタヤハムシ *Pyrrhalta fuscipennis* (JACOBY)
1ex., 横瀬町宇根(300m alt.), 26.X.1995.
- ・ヨツボシハムシ *Paridea quadriplagiata* (BALY)
2exs., 横瀬町宇根(300m alt.), 16.XII.1995.
- ・クロバヒゲナガハムシ *Taumacera tibialis* (JACOBY)
1ex., 東秩父村在家, 15.VIII.1996.
- ・フタホシオオノミハムシ *Pseudodera xanthospila* BALY

2exs., 寄居町釜伏峠(500m alt.)~釜伏山(582m alt.), 11.VI.1995.

サルトリイバラの葉を食べている個体がいくつか見られた。

- テントウノミハムシ *Argopistes biplagiata* MOTSCHULSKY
1ex., 東秩父村安戸槻川周辺, 2.I.1996.
- ヒメカメノコハムシ *C. piperata* HOPE
2exs., 東秩父村安戸槻川周辺, 2.I.1996; 1ex., 東秩父村在家, 15.VIII.1996.
- セモンジンガサハムシ *Cassida versicolor* (BOHEMAN)
1ex., 大滝村中津川溪谷(800m alt.), 3-4.V.1995.

ヒゲナガゾウムシ科 Anthribidae

- チャマダラヒゲナガゾウムシ *Acorynus latirostris* (SHARP)
14exs., 荒川村白久~熊倉山聖尾根(700m alt.), 31.XII.1995.
トチノキの樹皮下に越冬個体が多数見受けられた。

オトシブミ科 Attelabidae

- ドロハマキチョッキリ *Byctiscus puberulus* (MOTSCHULSKY)
1♀., 両神村両神山日向大谷(700m alt.), 7.VII.1996.
イタドリに多く, 数枚の葉をまとめて葉巻にする。本種の分類上の扱いは, SAWADA (1993) によればベニホシハマキチョッキリ *B. p. regalis* とトウキョウハマキチョッキリ *B. subauratus* が共に本種のシノニムとされ, ドロハマキの色彩変異の型としている。実際観察していても全ての組み合わせで交尾が見られ, 雄交尾器の形態も同様である。
- ファウストハマキチョッキリ *B. fausti* SHARP
1ex., 寄居町釜伏峠(500m alt.)~釜伏山(582m alt.), 11.VI.1995.
- マルムネチョッキリ *Chonostropheus chujoi* VOSS
2exs., 大滝村中津川溪谷(800m alt.), 3-4.V.1995.
- ヤドカリチョッキリ *Paradeporaus depressus* (FAUST)
5exs., 大滝村中津川溪谷(800m alt.), 3-4.V.1995.
- シリプトチョッキリ *Chokkirius truncatus* SHARP
1ex., 大滝村中津川溪谷(800m alt.), 3-4.V.1995.
- ウスモンオトシブミ *Apoderus balteatus* ROELOFS
1ex., 寄居町釜伏峠(500m alt.)~釜伏山(582m alt.), 11.VI.1995.
- ウスアカオトシブミ *A. rubidus* MOTSCHULSKY
2exs., 大滝村中津川溪谷(800m alt.), 3-4.V.1995.
- ヒメコブオトシブミ *Phymatapoderus pavens* VOSS
1ex., 東秩父村在家, 15.VIII.1996.

ホソクチゾウムシ科 Apionidae

- コゲチャホソクチゾウムシ *Apion semisericeum* WAGNER
11exs., 浦和市南部領辻, 10.XII.1995.
ケヤキの樹皮下にて越冬中の個体が多く見られる。

ゾウムシ科 *Curculionidae*

- ・アオヒゲナガゾウムシ *Eumyllocerus gratosus* SHARP
1ex., 寄居町釜伏峠(500m alt.)~釜伏山(582m alt.), 11.VI.1995.
- ・ヤドリノミゾウムシ *Rhynchaenus hustachei* KLIMA
1ex., 東秩父村安戸槻川周辺, 2.I.1996.
- ・ムモンノミゾウムシ *R. mumon* (KONO)
1ex., 東秩父村安戸槻川周辺, 2.I.1996.
- ・アカアシノミゾウムシ *R. sanguinipes* (ROELOFS)
2exs., 東秩父村安戸槻川周辺, 2.I.1996.
- ・エゴシギゾウムシ *Curculio styracis* (ROELOFS)
1ex., 寄居町釜伏峠(500m alt.)~釜伏山(582m alt.), 11.VI.1995.
わりと珍しい種であり, エゴノキの新芽に停まっているのが時々得られる。

なお, 調査は現在も継続中である。今後もデータがまとまり次第報告してゆきたい。埼玉県の甲虫相解明に少しでもお役に立てればと考えている。

末筆ではあるが, 文献等でお世話になった神奈川県生命の星・地球博物館の荻部治紀, 東京農業大学大学院の岸本年郎の両氏, 標本写真撮影の際お世話になった東京農業大学昆虫学研究室の関係諸氏, 本調査の主旨をご理解いただき, 牧場内において採集許可を頂いた埼玉県秩父高原牧場の島野知二氏に御礼申し上げます。

《主な参考文献》

- 斎藤良夫, 1978. 埼玉県の甲虫. 埼玉県動物誌, 埼玉県教育委員会. : 213-258.
- 斎藤良夫, 1981. 寄居町の甲虫類. 寄居町の自然 動物編(寄居町史資料集), 寄居町教育委員会. : 87-104.
- 寺山 守, 1982. 熊谷市産動物目録基礎資料(鞘翅目). 北埼玉地域研究センター年報第1号, 立正大学北埼玉地域研究センター. : 30-36.
- 長谷川道明, 1989. 戸田市の甲虫類. 戸田市動物誌, 戸田市立郷土博物館. : 151-181.
- 九州大学農学部昆虫学教室・日本野生生物研究センター, 1989. 日本産昆虫総目録 I (23. コウチュウ目). : 197-538.
- A. F. Newton Junior & M. K. Thayer, 1992. Current classification and family-group names in Staphyliniformia (Coleoptera). *feeldiana zoology (N.S.)*, No. 67. : III + 1-92.
- MORITA, S., 1993. A Note on *Chlaenius noguchii formosanus* HABU (Coleoptera, Carabidae). *ELYTRA, Tokyo*, 21(1). : 161-164.
- SAWADA, Y., 1993. A Systematic Study of Family Rhynchitidae of Japan (Coleoptera, Curculionoidea). *Humans and Nature, Hyogo*, No. 2. : 1-93.
- 牧林 功, 1995. 北本市の甲虫類. 北本の動植物誌, 北本市教育委員会. : 195-246.

他, 県内の甲虫類に関する多数の文献を参考にさせていただいた。

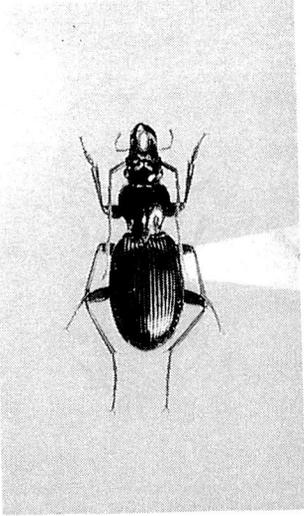


図1. キバナガゴミムシ

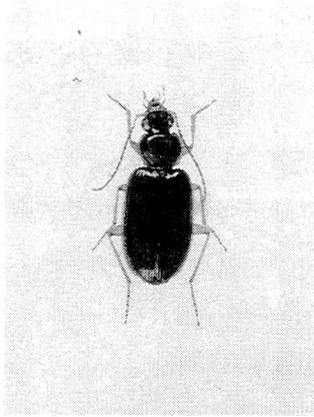


図2. オグラヒラタゴミムシ

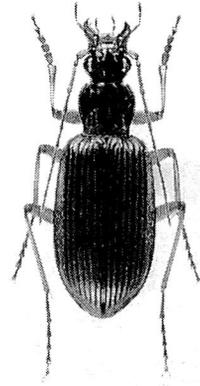


図3. ノグチアオゴミムシ

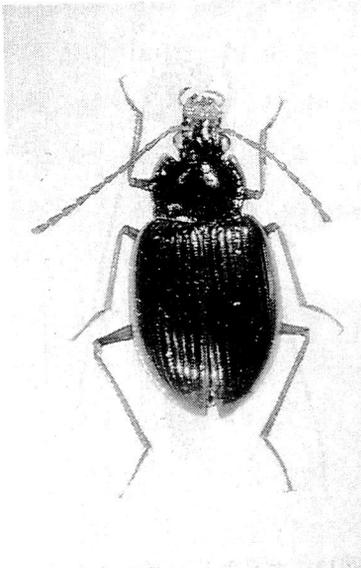


図4. クロツヤシデムシ

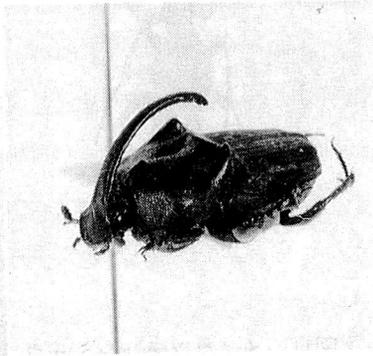


図5. ツノコガネ

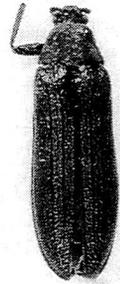


図6. ムネアカクシヒゲムシ

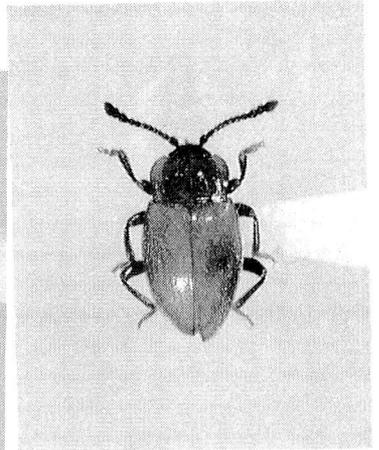
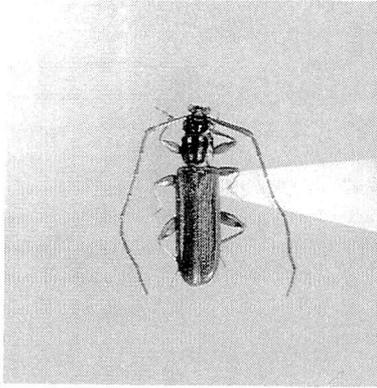
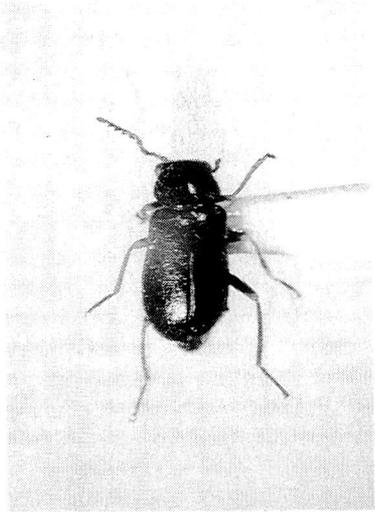


図7. ヒメジョウカイモドキ 図8. ヒメヒガナガヒラタムシ 図9. トウヨウダナエ
テントウダマシ

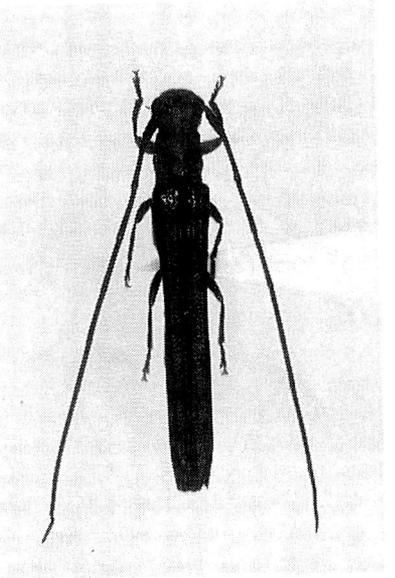
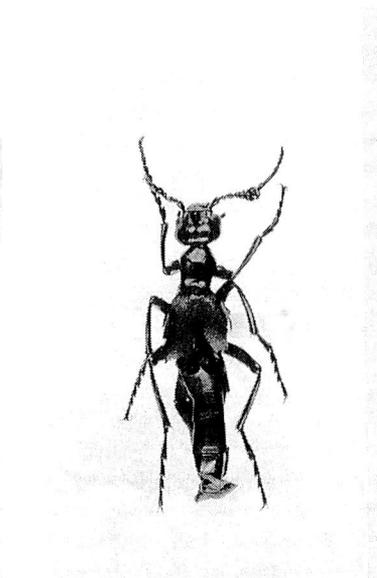
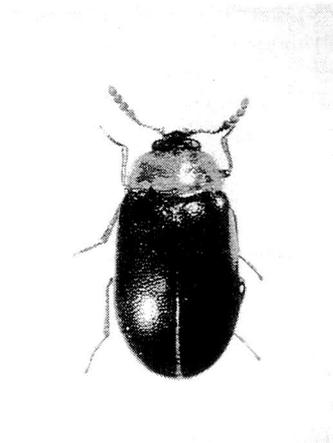


図10. キムネキノコムシダマシ 図11. メノコッチハンミョウ 図12. ホソキリンゴカミキリ

(とよだ こうじ 〒355-0221 比企郡嵐山町菅谷686)

.....

所沢市堀の内のジャコウアゲハ健在

神久保美津夫

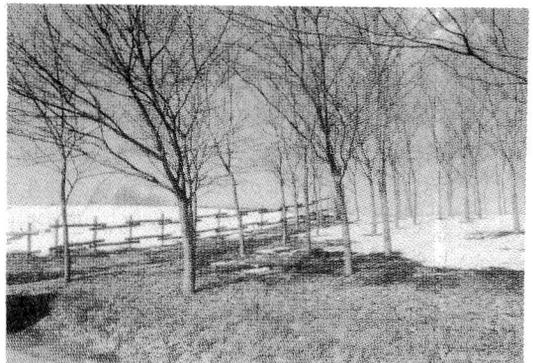
.....

1998年1月24日、所沢市堀の内（狭山丘陵の一部）に於いてジャコウアゲハの観察を行った。蛹は冬の葉のない時期の方が観察が楽である。2時間ほど発生地を見てまわった結果は次の通りであった。

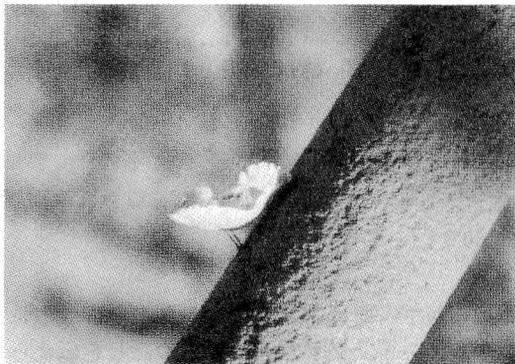
発見できた蛹の数は82個体。内、寄生あるいは何らかの外敵により、蛹が死亡または破壊されている個体は58個体におよび、生きている蛹は24個体であった。生存率は約29%であり、こ



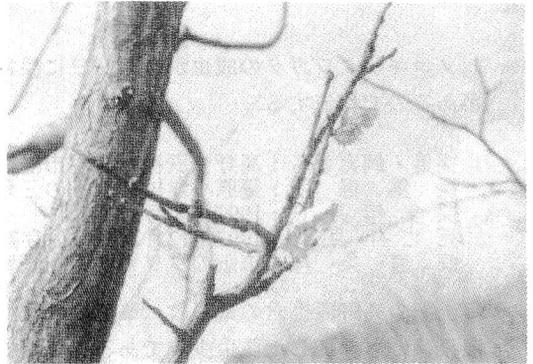
堀ノ内丘陵地帯のジャコウアゲハ発生地 1998-1-24



ケヤキの高い場所にも蛹が見られる 1998-1-24 堀ノ内



フェンスの支柱に蛹化したジャコウアゲハ 1998-1-24 堀ノ内



コナラの木の3mもの高い小枝に蛹化したジャコウアゲハ 1998-1-24 堀ノ内

写真 埼玉県所沢市堀之内のジャコウアゲハの発生地域及び冬季の越冬の状態

れは自然界に於いてはかなり高い確率ではなかろうか。死亡蛹は黒くなつており、さわると崩れたり、異常に硬くなっていたりする。すでに中身が無くなっていて殻だけになっているものもある。側面や腹部に穴があいて、明らかに寄生バエの天敵によるものも見受けられる。生きている蛹は薄茶色の透明感のあるもので、さわると腹部に弾力性があり、動かしてもヒクヒクと動き壊れることはない。蛹は食草（冬はない）の群生する栗林の木の幹とか枝にみられ、また、道端のフェンスの支柱だったり特に場所は選ばないようだ。また、発生地より数十メートル離れた、道をへだてたケヤキの木の高い所にも十数頭観察され、蛹化するためかなりの距離（ここでは30メートルほど）を移動しているようだ。

蛹化位置であるが、低い所は栗の幹の根元30センチほどの所から、高い場所は4メートルほどもあり、ケヤキの細い枝にも見られた。観察中に気づいたことであるが、目の高さより低いところにある蛹は、ほとんど寄生あるいは死亡個体であり、比較的高いところにある蛹に生きているものが多い。また、藪の中にある蛹も生きているものが多かつた。天敵の寄生バエとの関係があるのだろうか。あるいは、幼虫の時、寄生された蛹は不活発で低いところで蛹化してしまい、健康な幼虫は蛹化場所を高いところまで長距離移動するのであろうか。放置してある茶畑の脇にも多数の食草があり、夏から秋にかけて多数の幼虫が見られるが、冬の観察となると、葉の落ちないお茶の木の中は蛹をさがすのが困難で、1蛹しか見つけることができなかつた。見えない場所にかかなりの数の蛹があるものと考え。蛹の生存率29%と書いたが、これはあくまでも現時点で生きているものであり、過去の経験から、生きた蛹が春に羽化するの、この半数にも満たないのである。ジャコウの蛹とともに、寄生バエもしつかりと越冬し、羽化の段になると胴体をくいちぎりウジが出現するものが多い。

1988年から1991年のホソオチョウの発生でジャコウアゲハは一時的に極端に減少したが、その後復活して現在にいたっている。とりわけ、今年の堀の内でのジャコウアゲハは例年より多いようである。

(じんくぼ みつお 〒358 入間市新光306-859 ぶしニュータウン4-26-7)

.....

ノコギリクワガタの長寿記録

江村 薫

ノコギリクワガタの成虫が7月27日に採集されてから150日間（約5ヶ月）飼育された記録があるので報告する。

採集・飼育者名：高野 辰也（熊谷市立簗原小学校4年）
 採集場所：簗原小学校の近くの三角林（クヌギ林）
 採集年月日：1997年7月27日
 死亡年月日：1997年12月24日「生存期間：150日」
 飼育条件：市販のクワガタムシ飼育用のゼリーとミツを餌として与えた

上記の高野辰也君の母親は、筆者の同僚である。1996年の埼玉昆虫談話会の夏の合宿「木賊温泉」にも参加した昆虫少年である。職場で母親からノコギリクワガタの死亡の話しを伝えられ、その実物を持参してもらった。かなりの長寿記録と思われるので報告する。

(えむら かおる 〒346-0016 久喜市東3-32-18)

.....

比企地方のトンボ類 (I)

松田 幸弘

.....

今回の報告は、筆者の手持ち資料や採集データを中心にイトトンボ科からヤンマ科までをまとめたもので、最近の記録を中心に整理した。また、リストの中（例えば確認地）には表題の“比企地方”から外れた地域もあるが、いずれも鳩山町を中心に隣接した地域なので、便宜的に本報告の内容として扱うこととした。

なお、各データはすべて採集又は目撃記録であり、特に目撃種は完全なもののみ扱うようにし、曖昧なものはリストから省いた。また、リストは確認できた市町村ごとに整理したものであり、具体的な確認場所は[]の中に明記した。

大まかな凡例は次のとおりである。

※明らかに多くの確実な個体を確認できた場合は“多数”と記述した。

※(目)は同定済みの確実な目撃記録であり、他はすべて採集記録で筆者が保管している。また、雌雄未同定の目撃記録は“ex”と示した。

イトトンボ科 AGRIONIDAE

キイトトンボ *Ceriagrion melanurum* S

<鳩山町>

1♂(目), 97. 6. 1, 小用[調整池]; 1♂(目), 97. 7. 3, 小用. 調整池

*永い間、鳩山町で探していた種であったが、偶然ゴルフ場の調整池で発見した。本種は今回報告では上記の記録のみであるが、例えば、越辺川や都幾川等、河川敷などの止水域で発見される可能性も大きい。

アジアイトトンボ *Ischnura asiatica* B

<鳩山町>

多数, 92. 7. 12, 須江[大沼]

<川島町>

多数, 92. 7. 27, 山ヶ谷戸; 1♂, 97. 7. 6, 山ヶ谷戸

オオイトトンボ *Cercion sieboldii* S

<鳩山町>

多数, 92. 7. 4, 赤沼. 菱沼; 多数, 92. 7. 12, 須江[大沼]; 多数, 95. 6. 2, 高野倉[笹山沼]; 多数, 95. 7. 27, 石坂[越辺川]; 2♂2♀(目), 97. 6. 1赤沼[坊田谷]

<川島町>

多数, 95. 7. 27, 出丸下郷; 多数, 95. 7. 27, 山ヶ谷戸

<東松山市>

1♂(目), 95. 8. 13, 岩殿

クロイトトンボ *Cercion calamorum calamoru* R

<鳩山町>

多数, 92. 6. 26, 須江[大沼]; 多数, 92. 7. 4, 赤沼[菱沼]; 多数, 97. 5. 31, 石坂[越辺川]; 多数, 92. 7. 12, 須江[大沼]

<川島町>

多数, 95. 7. 27, 出丸下郷

<東松山市>

多数, 95. 5. 23, 上唐子[都幾川]; 多数, 95. 5. 23, 神戸[都幾川]; 1♂1♀(目)95. 7. 15, 上唐子[都幾川]; 多数, 95. 7. 16, 葛袋[都幾川]; 多数, 95. 8. 13, 岩殿

セスジイトトンボ *Cercion hieroglyphicum* B

<鳩山町>

多数, 91. 7. 4, 赤沼[菱沼]; 多数, 92. 8. 22, 須江[大沼] 多数, 97. 5. 31, 石坂[越辺川];

<東松山市>

多数, 95. 6. 11, 上唐子[都幾川]; 多数, 95. 7. 27, 上唐子[都幾川]

*本種は越辺川や都幾川などの本流中下流域の緩流部などに多く見られるが, 上唐子[都幾川]では生息域は断続的のようで, 個体数は多いものまったく見られない水域もある。また, 河川敷などに点在する河跡沼などにもその生息が見出され, 個体数も多い。上唐子では, ♂の青緑色型, 青色型の2タイプが見られる。

モノサシトンボ科 PLATYCNEMIDAE

モノサシトンボ *Copera annulata* S

<越生町>

1♂(目), 94. 6. 24, 大谷[大亀沼]

<東松山市>

1♂, 95. 7. 9, 上唐子[都幾川]

アオイトトンボ科 LESTIDAE

アオイトトンボ *Lestes sponsa* H

<鳩山町>

1♂1♀(目), 93. 10. 1, 須江[大沼]

*今回の報告では上記のみの記録であるが正確なデータとして不備なため, リストから除外した記録もある。実際には須江[大沼]でも当時は多数確認できた。しかし, オオアオイトトンボに比べると, 個体数や散見される機会はかなり少ないように感じられる。

オオアオイトトンボ *Lestes temporalis* S

<鳩山町>

4ex, 89. 10. 26 赤沼

<東松山市>

1♀(目), 95. 10. 28, 高坂

ホソミオツネイトンボ *Indolestes peregrinus* R

<鳩山町>

4ex(目), 92. 10. 18, 熊井[石場谷]

<小川町>

1♂(目), 95. 6. 18, 腰越[槻川]

カワトンボ科 CALOPTERYGIDAE

アオハダトンボ *Caiopteryx japonica* S

<東松山市>

3♂2♀(目), 95. 5. 23, 上唐子[都幾川]; 2♂1♀(目), 95. 5. 23, 神戸[都幾川]; 1♂1♀(目), 上唐子[都幾川]; 1♂(目), 97. 7. 3, 上唐子[都幾川]

<小川町>

3♂(目), 95. 6. 18, 腰越[槻川]

<坂戸市>

6♂(目), 90. 6. 10, 戸口[高麗川]; 5♂, 90. 6. 14, 戸口[高麗川]

<越生町>

1♂, 91. 5. 26, 津久根[越辺川]

*筆者の感想では、坂戸市戸口[高麗川]での生息がやや安定しているように思える。生息域も他の河川に比べてはるかに下流域であり、高麗川の清流度を裏付けているのだろうか。また、東松山市上唐子[都幾川]での記録は、本紙No84で松崎氏も述べているように、本種の盛衰が水量の減少に起因しているとの見方には同感で、水質の汚濁はもとより河床の汚泥化も見逃せない。なお、越辺川での記録は恐らく初記録と思われるが、その後本種の確認はできていない。

ハグロトンボ *Calopteryx atrata* S

<東松山市>

多数, 95. 7. 16, 葛袋[都幾川]; 多数, 97. 7. 3, 上唐子[都幾川]

<越生町>

多数, 89. 7. 24, 越生[越辺川]; (多数), 89. 9. 10, 越生[越辺川]; 3♂♀(目), 90. 7. 24, 津久根[越辺川]

ミヤマカワトンボ *Calopteryx cornelia* S

<小川町>

多数, 95. 6. 18, 腰越[槻川]

<都幾川村>

多数, 97. 5. 31, 大野[都幾川]

<越生町>

多数, 89. 7. 24, 越生[越辺川]; 2♀(目), 90. 7. 24, 津久根[越辺川]; 1♂(目), 91. 5. 26, 津久根[越辺川]

ヒガシカワトンボ *Mnais pruinosa costalis* S

<鳩山町>

1♂(目), 93. 5. 9, 熊井; 1♂(目. 透明型), 93. 5. 15, 赤沼[坊田谷]

<小川町>

1♀(目), 95. 6. 18, 腰越[槻川]

<都幾川村>

1♀(目), 95. 7. 16, 大野[橋倉川]; 多数, 97. 5. 31, 大野[都幾川]

<越生町>

1♂(目), 89. 5. 8, 黒山[越辺川]; 多数(透明型含む), 89. 5. 27, 龍ヶ谷[龍ヶ谷川]; 多数(透明型含む), 94. 5. 7, 黒山[越辺川]; 1♂(透明型目), 94. 5. 8, 大谷[大亀沼]

*本種は発生時期に越辺川上流域などで多数見られるが、特に龍ヶ谷川での♂は透明型が圧倒的に多い。

ムカシトンボ科 **EPIOPHLEBIIDAE**

ムカシトンボ *Epiophlebia superstes* S

<越生町>

7♂, 91. 4. 21, 麦原[麦原川]; 2♂7ex(目), 94. 4. 17, 麦原[麦原川]; 10♂1♀(目), 97. 4. 27, 麦原[麦原川]

*麦原川は越辺川上流域の支流である。この他にも、越辺川本流の上流域や細支流には各地に本種の生息可能地域がある。麦原川は個体数も多く、4月中下旬であれば多くの個体が林道上や溪流上を飛翔しているのを見ることができ、個体数も今のところ安定しているようである。

サナエトンボ科 **GOMPHIDAE**

ミヤマサナエ *Anisogomphus maacki* S

<鳩山町>

1♂, 89. 9. 20, 赤沼[山田谷]

<東松山市>

3ex(幼), 95. 4. 1, 上唐子[都幾川]; 1♂(羽化殻多数), 95. 7. 16, 葛袋[都幾川]; 2ex(羽化殻), 96. 6. 15, 上唐子[都幾川]; 4♂, 97. 7. 3, 上唐子[都幾川]

<坂戸市>

1♂(目), 95. 8. 2, 戸口[高麗川]

ヤマサナエ *Anisogomphus melaenops* S

<鳩山町>

1♂(目), 91. 6. 8, 石坂;

<小川町>

1♂(目), 95. 6. 18, 腰越[槻川]

<東松山市>

1ex(幼), 95. 4. 1, 上唐子[都幾川]; 3ex(幼), 95. 4. 8, 上唐子[都幾川]

キイロサナエ *Anisogomphus pryeri* S

<東松山市>

2♂(目), 97. 7. 3, 上唐子[都幾川]

ホンサナエ *Gomphus postocularis* S

<東松山市>

5♂, 95. 5. 23, 神戸[都幾川]; 多数, 95. 5. 23上唐子[都幾川]; 2♂(目), 96. 5. 25, 上唐子[都幾川]

*ホンサナエも上唐子[都幾川]では年々減少しているような気がする。このことはアオハダトンボと同じような境遇を辿っていることに起因しているのかも知れない。都幾川本流で本種

の生息密度が最も高かったのは、嵐山町、槻川合流点～東松山市神戸までの約2Kmほどのもので、95年には多数の個体を見ることができた。都幾川はもとより、越辺川でも精査すれば本種の生息が確認できるかも知れない。

コサナエ *Trigomphus melampus* S

<鳩山町>

1♂♀(目), 91. 6. 8, 小用[新沼]; 1♂(目), 93. 5. 29, 奥田[比砂田沼]

<東松山市>

(多数), 95. 5. 23, 上唐子[都幾川]; 1♂(目), 95. 5. 23, 神戸[都幾川]

<越生町>

1♂(目), 93. 5. 15, 大谷[大亀沼]; 多数, 94. 5. 8, 大谷[大亀沼]

ダビドサナエ *Davidius nanus* S

<都幾川村>

(多数. 羽化), 90. 5. 6, 大野[都幾川]

<東松山市>

5ex(幼), 95. 4. 8, 上唐子[都幾川]

<越生町>

1♂(目), 89. 5. 8, 黒山[越辺川]; 多数, 89. 5. 27, 龍ヶ谷[龍ヶ谷川]; 多数, 89. 6. 7, 津久根[越辺川]; 1♂(目), 90. 5. 26, 津久根[越辺川]

クロサナエ *Davidius fujiana* F

<越生町>

1♂(目), 89. 5. 27, 龍ヶ谷[龍ヶ谷川]

*本種のデータが揃っているのは上記のみであるが、実際には同地で比較的多く目にすることができ、5月の発生期の頃に林道や溪流沿いの草むらで休止個体が見られる。

オジロサナエ *Stylogomphus suzukii* O

<越生町>

1♂, 89. 9. 10, 津久根[越辺川]

ヒメクロサナエ *Lanthus fujiacus* F

<都幾川村>

1ex(幼), 95. 4. 15, 大野[都幾川源流域]

アオサナエ *Nihonogomphus viridis* O

<小川町>

多数(幼), 95. 6. 18, 腰越[槻川]

<東松山市>

多数, 95. 5. 23, 上唐子[都幾川], 3♂(目), 95. 5. 23, 神戸[都幾川]; 3ex(幼), 95. 4. 1, 上唐子[都幾川]; 3ex(幼), 95. 4. 8, 上唐子[都幾川] 4♂1♀(目), 96. 5. 25, 上唐子[都幾川]

<越生町>

6♂, 89. 5. 29, 津久根[越辺川]; 3♂(目), 89. 5. 29, 越生[越辺川]; 1♂(目), 89. 6. 7, 越生[越辺川]; 2♂, 89. 6. 7, 津久根[越辺川]; 1♀(目), 89. 7. 24, 越生[越辺川];

*比企地方では槻川、越辺川、都幾川などから本種を確認しているが、どの河川でも分布は局所的なものの、個体数は比較的安定しているような印象を受ける。また、槻川や都幾川では

幼虫も容易く得られるが、若齢～終齢まで各期の個体が同時に得られる。

オナガサナエ *Onychogomphus viridicostus* O

<鳩山町>

2♂, 89. 8. 16, 熊井[石場谷]

<東松山市>

1♂(目), 97. 7. 3, 上唐子[都幾川]

<越生町>

多数, 89. 7. 24, 越生[越辺川]; 多数, 89. 9. 10, 津久根; 多数, 90. 7. 24, 津久根[越辺川]

コオニヤンマ *Sieboldius albardae* S

<小川町>

1♂(目), 95. 6. 18, 高見{市野川支流}

<都幾川村>

1ex(幼), 95. 3. 21, 田中[都幾川]

<東松山市>

1ex(幼), 95. 4. 8, 上唐子[都幾川]; 1ex, 95. 7. 16, 葛袋[都幾川]; 3ex(羽化殻), 97. 7. 3, 上唐子[都幾川]

<越生町>

1♂(目), 89. 9. 10, 津久根[越辺川]; 1♂(目)90. 7. 24, 津久根[越辺川]; 1♂(目), 91. 8. 18, 大満[越辺川]

ウチワヤンマ *Ictinogomphus clavatus* F

<鳩山町>

1♂, 97. 7. 30, 赤沼[大沼]; 2♂(目), 89. 8. 16, 大橋[上板谷沼]

<吉見町>

多数, 97. 7. 6, 黒岩[八丁湖]

<東松山市>

1♀(目), 95. 8. 13, 岩殿

* 吉見町[八丁湖]では数十の個体が随所で確認できるほど多い。

オニヤンマ科 **CORDULEGASTERIDAE**

オニヤンマ *Anotogaster sieboldii* S

<鳩山町>

1♂, 89. 8. 16, 熊井[石場谷]; 2♂, 90. 6. 13, 熊井[石場谷]; 多数, 90. 9. 22, 熊井[石場谷]; 多数, 92. 8. 21, 赤沼[坊田谷]; 多数, 92. 8. 22, 須江[大沼]

<玉川村>

3ex, 95. 9. 9, 日影

<東松山市>

多数, 95. 8. 13, 岩殿

ヤンマ科 **AESCHNIDAE**

サラサヤンマ *Oligoaeschna pryeri* M

<鳩山町>

1♂, 89. 5. 27, 小用; 3♂, 89. 6. 12, 熊井[石場沼]; 1♂, 89. 6. 12, 高野倉; (以上 本紙No55. pp1008~1009既報済); 1♂, 90. 5. 24, 熊井[石場沼]; 5♂, 90. 6. 2, 熊井[立野谷]; 1♂, 91. 5. 26, 大豆戸; 1♂(目), 91. 6. 16, 熊井[立野谷]; 1♂, 96. 6. 8, 小用; 1ex, 96. 7. 3, 大豆戸

ミルンヤンマ *Planaeschna milnei* S

<鳩山町>

1♀, 91~93, 鳩山町役場庁舎内にて採集

*残念ながらデータは不詳であるが, 比企地方の平野部などでは比較的珍しい記録と思われる。今回の記録は恐らく周辺地域からの迷入と考えられ, 土着は疑わしい。この他に都幾川村[大附]での採集例1♂の記録もあるがデータが不詳である。

カトリヤンマ *Gynacantha japonica* B

<鳩山町>

1♂(目), 88. 10. 15, 小用

<都幾川村>

1♀, 95. 10. 28, 本郷

<東松山市>

4♂(目), 95. 10. 28, 岩殿

ヤブヤンマ *Polycanthagyna melanictera* S

<鳩山町>

1♀, 90. 5. 29, 熊井[立野谷]; 1♂, 92. 7. 8, 大豆戸; 1♂, 92. 8. 21, 赤沼[坊田谷]; 1♂, 94. 6. 17, 大豆戸

<東松山市>

1♂(目), 95. 8. 13, 岩殿

*赤沼[坊田谷]では黄昏飛翔するヤンマ類を観察できるが, 本種はそうした際に採集できる。鳩山町では主に休耕田を配した谷津などで見かけることが多いが, 発生初期の頃は小高い丘陵帯の林道などでもよく見かける。

ルリボシヤンマ *Aeshna juncea* L

<鳩山町>

1♂, 95. 10. 14, 熊井[石場沼]

*谷津の小さな湿地上をパトロール飛翔していた個体を採集した際の記録であるが, 極めて新鮮な個体であった。別段, この地域に定着していても不思議ではないのだが, 目にするのは難しい種である。比企地方西部の丘陵帯や山間部の池沼が発生源なのだろうか。

ギンヤンマ *Anax parthenope julius* B

<鳩山町>

1♂(目), 89. 8. 16, 熊井[石場沼]; 6♂(目), 90. 9. 22, 熊井[石場沼]; 1♂(目), 91. 6. 16, 熊井[立野谷]; 4ex(目), 92. 7. 12, 須江[大沼]; 多数92. 8. 21, 赤沼[坊田谷]; 多数, 92. 8. 22, 須江[大沼]; 1ex(目), 95. 7. 27, 石坂

クロスジギンヤンマ *Anax nigrofasciatus nigrofasciatus* O

<鳩山町>

1ex(目), 90. 6. 24, 小用[新沼]; 1♂, 92. 6. 13, 赤沼[坊田谷]; 1ex(目), 92. 7. 24, 赤沼[菱沼] 1♂

(目), 93. 5. 29, 奥田[比砂田沼]; 1♂, 93. 6. 6, 赤沼[坊田谷]

<越生町>

2♂(目), 94. 5. 8, 大谷[大亀沼]

<小川町>

1♂(目), 95. 6. 18, 高見

以上今回の報告では特筆すべきものはないが、比企地方にはトンボの生息として絶好の谷津田や池沼が数多く残っていて、精査しだいでは希少種の発見もあり得よう。しかし、一方でこれらの場所は造成や土地改良事業等により、様相が変わりつつあるのも現実で、なじみ深い種の衰退も見逃せない。そんな経緯から、保管している標本や写真撮影のデータ、パソコン処理による観察データなどを元に本リストを調製してみたが、比企地方に限ってリストアップしてみるとそのデータは以外と少ないものである。さらにその内容も手薄であり、特にイトトンボ類やヤンマ類での観察不足は否めない。このうちヤンマ類では鳩山町において、谷津田に黄昏飛翔する個体を観察する限り、ネアカヨシヤンマやマルタンヤンマらしき個体も散見されるが、確実なデータが無くやむなくリストからは省いてある。こうしたいわゆる“リスト漏れ”の扱いについては、今後の調査以降で確認できしだい追加リストとして報告の機会を持ちたい。

なお、ヤンマ科以降のリストについては「比企地方のトンボ類(Ⅱ)」として整理できしだいい報告したい。

(まつだ ゆきひろ 〒350-03 比企郡鳩山町今宿297)

.....

秋ヶ瀬公園のアカボシゴマダラの採集記録

柴田直之

.....

1995年に浦和市秋ヶ瀬公園でアカボシゴマダラが発生したというニュースが一部の愛好者の中で話題になった。偶産種(人為的な可能性が大)ということであるため、記録の重要性は低いと思うが、埼玉県昆虫誌作成にあたって、実際の報告例が殆ど無いために困っているという連絡を作成準備委員の矢野高広氏から受けた。従って、筆者の周りで採集したという方々に記録の提供をお願いしてみたところ、下記の情報を入手することが出来た。

- ・1♀ 埼玉県浦和市秋ヶ瀬公園 20.VIII.1995, 梅田幸和採集
(日本昆虫協会主催の採集会で採集。他に1exを採った人がいたということである)
- ・1♂2♀ 埼玉県浦和市秋ヶ瀬公園 29.VIII.1995, 大須賀常雄・大須賀敢太採集

余談であるが、この年には秋ヶ瀬公園をはじめ、周辺で点々と採集されている様であるが、あまり興味がないことも手伝い、筆者自身は実態をつかんでいない。また、1996年以降の記録についてもうわさ程度しか聞いていない。

なお、原産地は中国大陸らしいが詳しくは知らない。

末筆ながら快くデータを教えて下さった梅田幸和氏、大須賀常雄、大須賀敢太の3氏にお礼申し上げる。

(しばた なおゆき 〒350-11 川越市諏訪町18-8)

.....

97年中部イタリアで出会った蝶たち (その1)

アゲハチョウ科・シロチョウ科・シジミタテハ科

中村 英夫

.....

筆者は1996年12月から、中部イタリア・ウンブリア州テルニ市に住むようになり、中部イタリアの蝶を採集する機会に恵まれている。1997年の1シーズンにウンブリア州および近隣の中部イタリア4州（ラツィオ、トスカーナ、マルケ、アブルッツォ、いずれも筆者自宅から2時間圏内）で採集観察し同定ができた蝶120種弱について、コメントを付けてまとめつつある。今回はアゲハチョウ科、シロチョウ科、シジミタテハ科について報告する。次回はシジミチョウ科を予定している。

なお、採集・観察地の県（Provincia）名の略号はイタリアの慣例に従い次の通り表示した。（各州の採集記録に登場しない県は省略）

- ・ウンブリア州（Umbria） TR テルニ県（Terni）
PG ペルージア県（Perugia）
- ・ラツィオ州（Lazio） RM ローマ県（Roma）
VT ビテルボ県（Viterbo）
RI リエーティ県（Rieti）
- ・トスカーナ州（Toscana） FI フィレンツェ県（Firenze）
SI シエナ県（Siena）
- ・マルケ州（Marche） MC マチェラータ県（Macerata）
- ・アブルッツォ州（Abruzzo） AQ ラクイーラ県（l'Aquila）

県名は県都名と同じなので、少し詳細なヨーロッパ地図があれば大体の位置を理解して頂けると思う。

◎ アゲハチョウ科

○ タイシアゲハ *Zerynthia polyxena cassandra*

ギフチョウ族の可愛らしいアゲハでホソオチョウ春型♀の尾状突起を取ったような印象の蝶である。欧州南東部に局地的に分布し原名亜種の基産地はオーストリアのウィーン。多くの地方亜種が命名されており、イタリア半島産は表記亜種とされる。北部ではやや普通に産するが半島部では比較的少ない種といわれている。近縁種と同様、大部分の時期を蛹で過ごし越冬した後、成虫は年1回春にだけ出現する。食草はウマノスズクサ類。

97年には下記ローマ近郊で1♂記録したのみ。当地へはその翌週も赴いたが多数の食草が生きているにもかかわらず、卵・幼虫・成虫とも他個体は全く発見出来なかった。

<採集例> 1♂ 19-IV Albano Laziale, RM

○ クロホシウスバシロチョウ *Parnassius mnemosyne*

日本産ウスバシロチョウよりふたまわり小さく、ウスバキのように活発に翔ぶ。分布図では半島全域を分布圏と表示しているが、ローマ付近では山地性の蝶で亜高山帯以上に限って見られるようである。5月下旬から羽化し、アポロの出現初期には姿を消す。食草はエンゴサク類。イタリア半島産の個体は♂前翅亜外縁部の黒帯中に白斑を有するバルカン半島亜種ssp. *athene* の特徴をもつものが多いとされている。下記例ほか採集したものはほとんどそのタイプであった。

<採集例> 1♂ 24-V M. Terminillo Terminillo Rieti, RI
 10♂ 7-VI Piano Grande (alt. 1400m) Monti Sibillini Norcia, PG
 25♂ 7♀ 14-VI M. Terminillo (alt. 1700m) Terminillo Rieti, RI
 1♂ 1♀ 22-VI Piano Grande (alt. 1400m) Monti Sibillini Norcia, PG

○ アポロウスバシロチョウ *Parnassius apollo*

欧州を代表する蝶で、278にのぼる亜種や型が記載されている。イタリア半島中部以南の生息地は全て高山帯に限られており、この地では「高山蝶」と言うことができる。成虫の羽化時期は積雪状態や春の天候に左右されるが、97年はM. Terminillo (alt. 1700m) で6月21日に1頭目撃、Campo Imperatore (alt. 1600m) で6月29日に1頭目撃した。ローマ周辺の産地では7月中旬に最盛期となり8月に入ると激減する。高山の急斜面を風に乗って飛翔する個体の観察は極めて困難であるので、じっくり観察するためには個体数が多く、足場がよく、アザミ類の花が咲いているポイントを選ぶ必要がある。本種はワシントン条約Ⅱ種に指定されているため、輸出入に際しては原産地当局の承認を要するほか、ドイツ等欧州各国では国や州レベルで採集禁止になっている場合が多い。

<観察例> 15♂ 2♀ 5-VII Campo Imperatore (alt. 1600m) Gran sasso d'Italia, AQ
 9♂ 1♀ 13-VII Terminillo (alt. 1700m) Terminillo Rieti, RI
 20♂ 10♀ 26-VII M. Rotondo (alt. 1800m) Casali di Ussita, MC
 1♂ 1♀ 2-VIII Terminillo (alt. 1800m) Terminillo Rieti, RI

○ キアゲハ *Papilio machaon*

日本産hippocratesの原名亜種か別種かという問題もあるが、外観は後翅黒帯の幅など日本産個体と差が見られる。また夏に発生する個体も第1化と大きさがほとんど変わらず、日本産夏型のような大型個体は見られない。成虫は低地では3月中旬から出現し第2世代以降は6月から10月下旬までほぼ連続して見られる。この間、2世代以上の発生を繰り返しているのか1世代のみの出現期が長期に分散しているのかは不明。耕作地、牧場、果樹園、空港など人為的環境の周辺部に開けた草原に多く見られる。

<採集例> 1♀ 23-III ca. 3Km nord-est di Orte, VT
 1♂ 31-III Cesi Frazione di Terni, TR
 1♂ 21-IX Rosciano Frazione di Arrone, TR

○ ヨーロッパタイマイ *Iphiclides podalirius*

優雅に滑空する姿をローマ市街地でもよく見掛ける最も普通なアゲハチョウ。3月中旬から成虫が出現し9月上旬頃まで見られる。食樹はアゲハチョウ科としては意外なバラ科のPrunus

属.

3月31日に、羽化直後の翅の柔らかい♀1個体が下草にぶら下がっている場面に遭遇したので周囲を探したが蛹殻は発見できなかった。

<採集例> 1♂ 1♀ 31-III Cesi Frazione di Terni, TR
 1♂ 10-V Rosciano Frazione di Arrone, TR
 1♂ 10-VIII i Prati di Stroncone, TR

◎ シロチョウ科

○ エゾシロチョウ *Aporia crataegi*

中部イタリアでは山地性の蝶で標高900m前後から高山草原までにわたり見られる。北海道産の個体に比べて小型である。クロホシウスバシロと発生期をほぼ同じくするので Monti Sibilliniの高地帯などでは飛翔中のは紛らわしいことがある。食樹は多くのバラ科であるが、当地ではボケによく似た低灌木が利用されているケースが多いようである。

<採集例> 1♂ 24-V M. Terminillo (alt. 1000m) Terminillo Rieti, RI
 4♂ 8-VI i Prati di Stroncone (alt. 900m) Stroncone, TR
 4♂ 1♀ 14-VI M. Terminillo (alt. 1300m) Terminillo Rieti, RI

○ セイヨウヒメシロチョウ *Leptidea sinapis*

日本産エゾヒメシロによく似た種であるが飛翔はより活発な感じである。生息地は低地から低山地の林縁の草地や道路沿いの疎林沿いなど。年2~3回成虫が発生し春型は3月下旬までには出現するようである。97年の夏型は各所で多数見ているが、採集しておらず正確な観察記録がない。

<採集例> 1♂ 18-III Nera Montoro di Narni, TR
 1♂ 22-III Vigne di Narni, TR
 6ex 3-V Rosciano Frazione di Arrone, TR
 1♀ 10-V Cottanello (alt. 550m), RI

○ エゾスジグロチョウ *Artogeia napi meridionalis*

イタリア半島全域に分布する最普通種。欧州では地理的変異に富み多数の亜種が命名されており、イタリア半島部産は表記亜種とされ、ドイツ産等と比べ同一条件下での飼育でも一定の差異が見られるという。特に第2化以降の個体が大型になるのが特徴とされる。日本のスジグロ、エゾスジグロに比べて明るく開けた環境でより多く見られる。北部内陸アルプス周辺では ssp. *bryoniae* (ヤマスジグロチョウとして別種とされることがある) が分布している。

<採集例> 1♂ 18-II Nera Montoro di Narni, TR
 1♀ 18-III 同上

○ モンシロチョウ *Artogeia rapae*

エゾスジグロチョウ、オオモンシロチョウとならんでどこでも見られる普通種であるが印象的にはエゾスジグロチョウよりも劣勢の感がある。ミナミモンシロチョウとの混棲地では手にとって見ないと識別不能であるが、本種の方がゆるやかに飛翔しているような印象を受ける。

97年シロチョウ新成虫初見1月28日の観察例は、確認できなかったが本種であった可能性が高い。

<採集例> 1♂ 2-III ca. 2Km sud citta di Amelia, TR
1♀ 29-VI Campo Imperatore (alt. 1600m) Gran sasso d'Italia, AQ

○ ミナミモンシロチョウ *Artogeia manni*

ほぼ半島全域に局地的ながら分布する種。前2種やオオモンシロのようにどこにでもいる種ではなく、乾燥した荒地や岩礫地近くの草原を生息地に行っているようである。注意して見えないせいかもしれないが、97年に本種を確認できたのは下記Terni市内の1か所のみであった。3月以降、年2~3回の発生するとされる。

<採集例> 5♂ 31-III Cesi Frazione di Terni (M. Torre Maggiore), TR
2♂ 5-IV 同上

○ ヤマモンシロチョウ *Artogeia ergane*

欧州全体からみてもシロチョウ属としては局地的な分布をする種。イタリアでは半島中部と内陸の南チロールに限られた分布域が知られる。低山地から山地帯の岩礫地近くの草原に生息しており、近縁種に比べ小型であるので飛翔中でも容易に見分けられるが、むしろヒメシロと紛らわしい。周年経過は他のシロチョウ属とほぼ同一。春型みでは全面白色無紋の個体も見られる。

<採集例> 11♂ 2♀ 31-III Cesi Frazione di Terni (M. Torre Maggiore), TR
1♂ 25-V i Prati Stroncone (alt. ca. 1000m), TR
3♂ 2♀ 14-VI M. Terminillo (alt. 1400m) Terminillo Rieti, RI
1♂ 12-VII ca. 2Km est S.Pietro (alt. 1200m) Gran Sasso d'Italia, AQ

○ オオモンシロチョウ *Pieris brassicae*

最も普通に見られるシロチョウのひとつでローマ市内でも稀ではない。3月上旬から11月上旬まで成虫が出現するが、盛夏には低地では極めて少ないようで高山帯での目撃例が多い。*Artogeia*属のシロチョウに比べ、高所を飛ぶことが稀ではなく、かなりの高さの樹冠を飛び越えたり、樹木の葉上に静止する個体が見られる。

<採集例> 1♂ 8-III Vigne di Narni, TR
5♂ 1♀ 31-III Cesi Frazione di Terni, TR
1♀ 19-IV Albano Laziale, RM

○ チョウセンシロチョウ *Pontia daplidice*

イタリア半島全域に分布し2月下旬から11月中旬ころまで連続して成虫が見られる。開けた荒地に多く、直線的に活発に飛び、訪花しても敏感で近寄り難い。飛翔中個体を次種と区別することは極めて難しいが、一般に本種の方がより大きく見える。

<採集例> 1♀ 31-III Cesi Frazione di Terni, TR
1♂ 1♀ 29-IV Nera Montoro Narni, TR
4♂ 17-V vicino di Piazza Castellina in Chianti, SI

○ *Euchloe simplonia*

チョウセンシロチョウを一回り小さくしたような蝶で、斑紋はクモツマキチョウ♀によく似ている。チョウセンシロチョウ同様♂は敏速に飛翔し、なかなか静止しない。3月上旬頃から出現し6月中旬頃まで見られるが、この間2回発生するとされている。生息環境もチョウセンシロチョウのそれとほぼ同じである。

<採集例> 1♂ 23-III ca. 3Km nord-est di Orte, VT
 1♀ 10-IV Nera Montoro Narni, TR
 1♂ 10-V Villa di Vasciano Frazione di Stroncone, TR
 1♀ 14-VI M. Terminillo (alt. 1300m) Terminillo Riete, RI

○ クモツマキチョウ *Anthocaris cardamines*

欧州の春を代表するような昔から親しまれてきた蝶で、静物画に添えられている作品を美術館で見ること多い。温暖な所では3月上旬より羽化し、高地では6月上旬頃まで成虫が見られる。日本と同様、溪谷やガレ場にもいるが、牧草地や耕作地周辺、遺跡、林縁の草地、道路沿い、工場敷地といった多様な環境で普通に見ることができるが市街地に現れたのを見たことはない。個体密度の高い場所では日本産に比べ驚くほど緩やかに飛翔するが、個体密度の低いオープンスペースでは直線的に敏速に飛ぶのが見られる。3月下旬からハタザオ類に卵が沢山ついているのが見付かる。

<採集例> 2♂ 16-III Borgaria di Narni, TR
 14♂ 5♀ 31-III Cesi Frazione di Terni, TR
 2♂ 1♀ 11-V M. Terminillo (alt. 800m) Terminillo Rieti, RI

○ キイロクモツマキチョウ *Anthocaris belia euphenoides*

北アフリカ西部からイベリア半島・南フランスにかけて地中海西半分をとりまくように分布するが、飛び離れてイタリア半島中部アペニン山脈の限られたいくつかの高峰周辺に局地的な産地が知られている。欧州産ssp. *euphenoides*は独立種とされることもある。アペニン山脈では出現期が短期に集中しているのか、97年は下記記録のみだった。高山の草原斜面を直線的に流れるように飛翔する。

<採集例> 16♂ 1♀ 31-V Piano Gande M.Sibillini (alt. 1400m) Castelluccio, PG
 9♂ 3♀ 7-VI 同上

○ ヤマキチョウ *Gonepteryx rhamni*

平地から山地まで広く分布する。成虫の羽化期は日本産より早く7月上旬には姿をみせる。越冬個体は3月上旬から現れる。クレオパトラとの混棲地で本種♂がクレオパトラ♂と争ってクレオパトラ♀に求愛する場面を目撃した。成虫は日本産よりかなり小さく色彩はスジボソヤマキに似ている

<採集例> 1♂ 1-III Piediluco Frazione di Terni, TR (越冬個体)
 1♂ 25-IV Lago di Albano, Castel Gandolfo, RM (越冬個体)

○ クレオパトラヤマキチョウ *Gonepteryx cleopatra europae*

ヤマキチョウよりやや分布が極限されるが、ローマ郊外の低地でも見られる。♂は多型でイタリアでは裏面が緑色のタイプ(通常型)と黄色のタイプ*f. italica*のふたつがあるとされているが、97年に採集・目撃した個体は全て通常型であった。♀はヤマキチョウが緑色を帯びた灰白色であるのに対して、本種は淡いレモンイエローであるので区別できる。成虫の羽化期はヤマキチョウより早く6月中旬には越冬個体と新成虫の混飛が見られた。ヤマキチョウ同様越冬個体は比較的新鮮で中には新成虫のような個体もある。

<採集例> 1♂ 3-III Nera Montoro di Narni, TR (越冬個体)
1♀ 16-III Stifone Frazione di Narni, TR (越冬個体)

○ ミナミモンキチョウ *Colias australis*

日本産モンキチョウおよび欧州産モトモンキチョウ*C. hyale*に酷似した種であるが、イタリア半島中北部以南には、淡黄色のモンキチョウは本種しか分布していないので混同されることはない。日本産モンキチョウ同様、低地から高山までその生息標高範囲は広い。3月下旬頃から成虫が出現し11月上旬頃まで連続して見られる。

<採集例> 3♂ 31-III Cesi Frazione di Terni, TR
1♀ 3-V Rosciano Frazione di Arrone, TR

○ ヨーロッパモンキチョウ *Colias crocea*

前種より広範囲に分布するイタリアでは最も普通に見られる黄色い蝶。♀は♂と同じオレンジを帯びた山吹色のものと乳白色のものがある多型である。2月下旬から11月まで成虫が見られ、♂は活発に草原を飛び交う。イタリアには他に3種のモンキチョウ(高山蝶のヘリモンキチョウ、低地性のモトモンキチョウ、山地性のミヤマモンキチョウ)が分布するがいずれも半島部には生息していない。

<採集例> データを伴った記録なし

◎ シジミタテハ科

○ ヨーロッパシジミタテハ *Hamearis lucina*

欧州唯一のシジミタテハ。イタリアでは南部をのぞくほぼ全域とシチリア島に生息地が点在することになっているがアルプス南麓の内陸部以外、即ちイタリア半島では稀な種とされている。欧州大陸内陸では低地の樹林帯が主要な分布圏とされているが、イタリア中部のモンティ・シビリニ国立公園では亜高山草原に生息している。草上を活発に飛翔しみの占有・追飛行動が見られる。5月と8月の2回、成虫が発生するとされるが、97年には夏の個体を見るチャンスはなかった。

<採集例> 4♂ 1♀ 31-V Piano Grande (alt. 1400m) M. Sibillini Castelluccio, PG
9ex 7-VI 同上

(なかむら ひでお Via 20 Settembre 109 05100 Terni, Italy)

寄せ蛾記86号 目次

井上 寛：いるま蛾報（9）	2432
豊田 浩二：埼玉県でニッコウオオズナガゴミムシを採集	2437
豊田 浩二：大宮市にてクロコノマチョウを採集	2438
豊田 浩二：奥秩父で得られたオサムシ2種の記録	2439
豊田 浩二：埼玉県における甲虫類の記録 1994～'96	2440
神久保美津夫：所沢市堀の内のジャコウアゲハ健在	2460
江村 薫：ノコギリクワガタの長寿記録	2461
松田 幸弘：比企地方のトンボ類（I）	2462
柴田 直之：秋ヶ瀬公園のアカボシゴマダラの採集記録	2469
中村 英夫：97年中部イタリアで出会った蝶たち（その1）	2470
会員名簿変更について	2276
会報・編集後記	2276

（埼玉昆虫談話会 1998年 4月30日，46pp）